



小学生の体験活動の場としての 都市公園に求められる役割

緑地計画学 安川 亮也



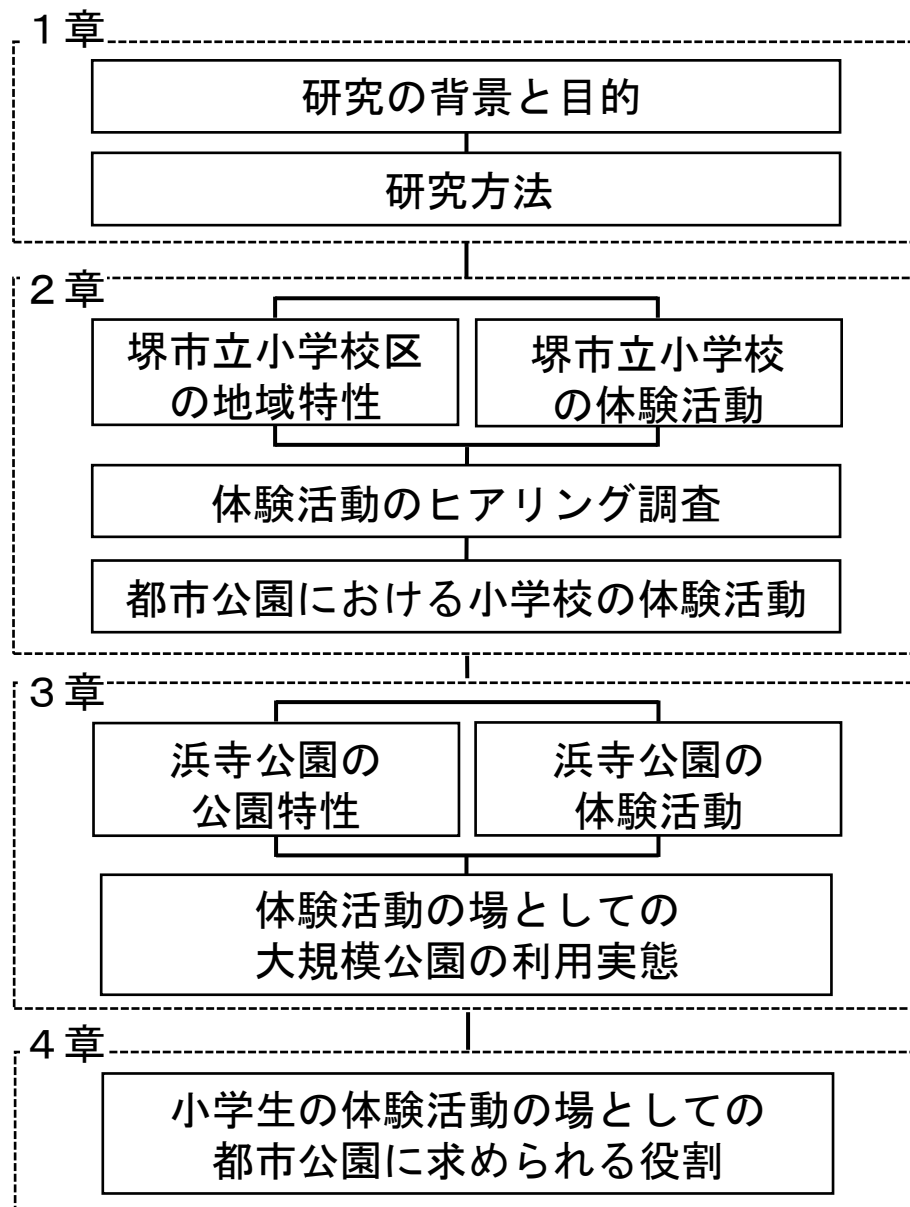
研究の背景及び目的

研究の背景

- ・ 体験活動は自然や人・社会と直接関わり、五感を通じて学ぶ取組である。
- ・ 小学校の学習指導要領にも位置付けられており、児童が気軽に学ぶことができるように、公園などの身近な場所における体験の機会を充実させることが求められている。

研究の目的

小学校の体験活動の実施状況を整理し、実際に都市公園がどのように活用されているかを明らかにすることで、体験活動における都市公園が果たす役割を明らかにする。



体験活動の定義

参考文献：文部科学省（2013）『今後の青少年の体験活動の推進について』

生活体験

遊具や広場を用いた活動



文化体験

博物館等を利用した学習活動



自然体験

樹林や草地を活用した自然環境に係る活動



社会体験

花壇整備のようなボランティア活動



引用：堺市立小学校HP

第2章：研究方法 -都市公園における小学校の体験活動-

[調査対象]：堺市立小学校区（全92校）

[調査方法]

●校区別の地域特性

- ・公園面積割合（面積/総公園面積）

→ArcGIS Proを用いて、校区別に集計

●都市公園を利用した体験活動

<調査資料>：各小学校のHP

→2024年度に学校行事として都市公園を利用した記事を抽出

<調査項目>

日時、学年、公園名、行事内容

→公園の所在地と種別、体験活動の種類を特定

小学校HP記事

10/7 1年公園探検

公開日:2024/10/07 更新日:2024/10/07

1年

三宝公園についてから、まずは、「バナナおにごっこ」や「だるまさんがころんだ」をみんなで遊びました。その後は、みんなで「秋」をさがしました。バッタ、コオロギなどの生き物や、色が変わった落ち葉をみつけていました。

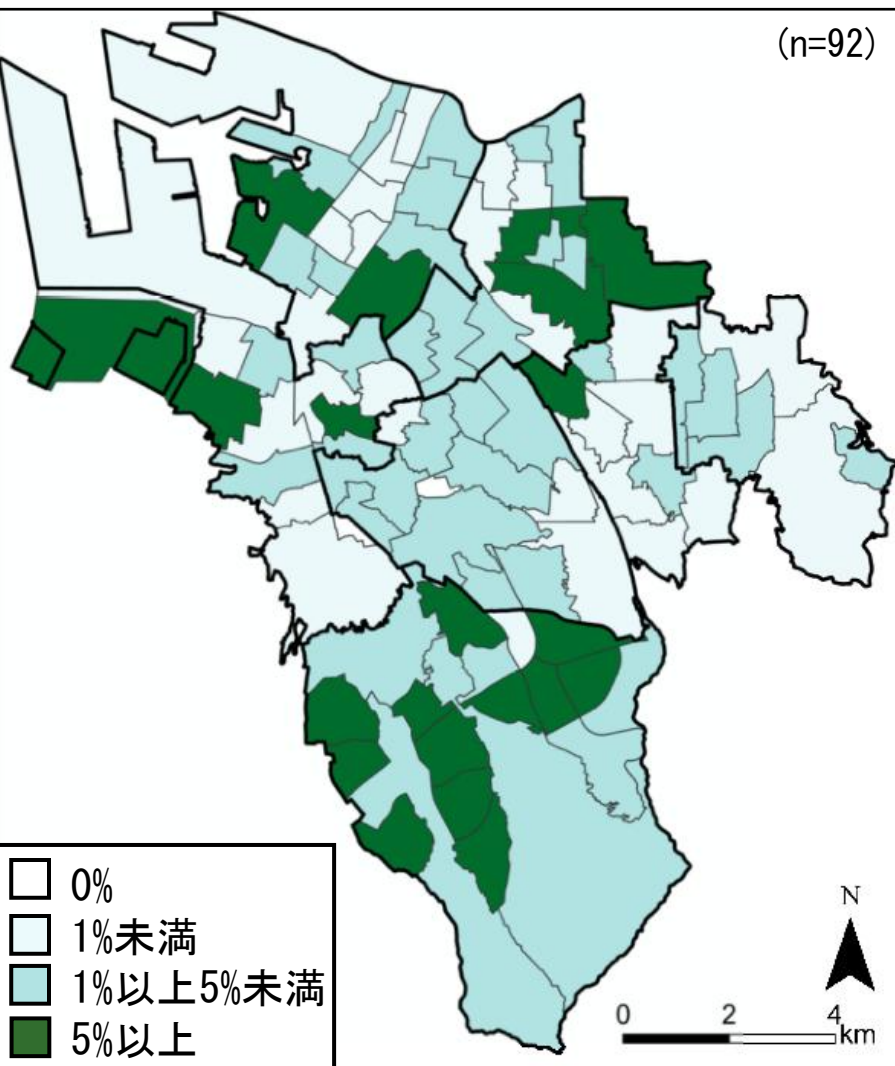


(引用：三宝小学校HP)

第2章：結果 -校区別の地域特性・体験活動-

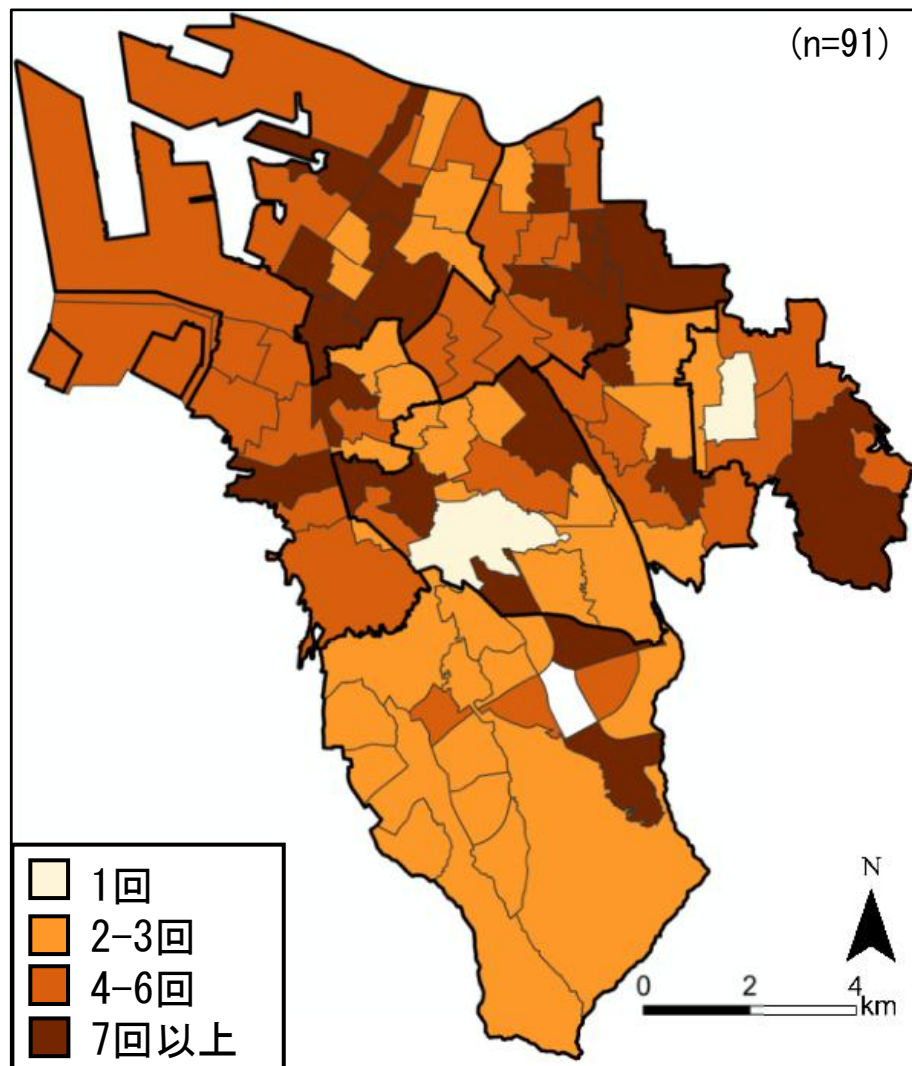
公園面積割合

(n=92)



体験活動数

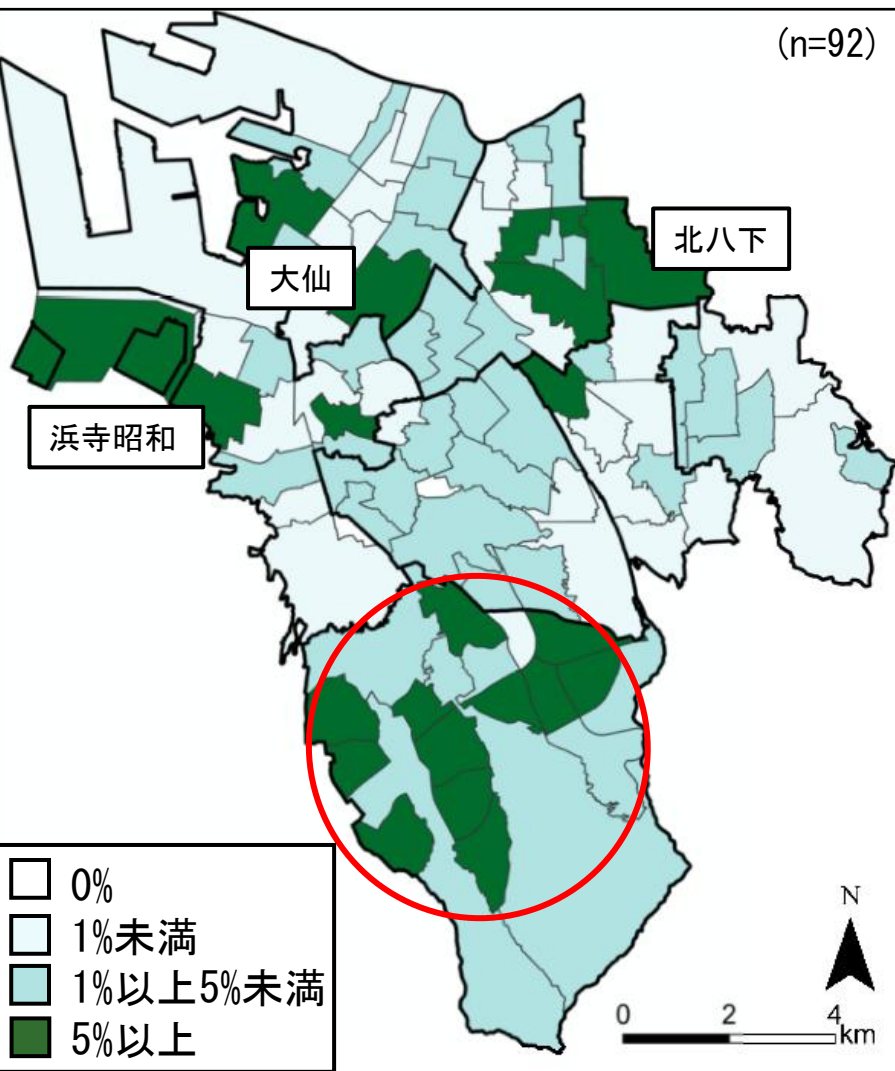
(n=91)



第2章：結果 -校区別の地域特性・体験活動-

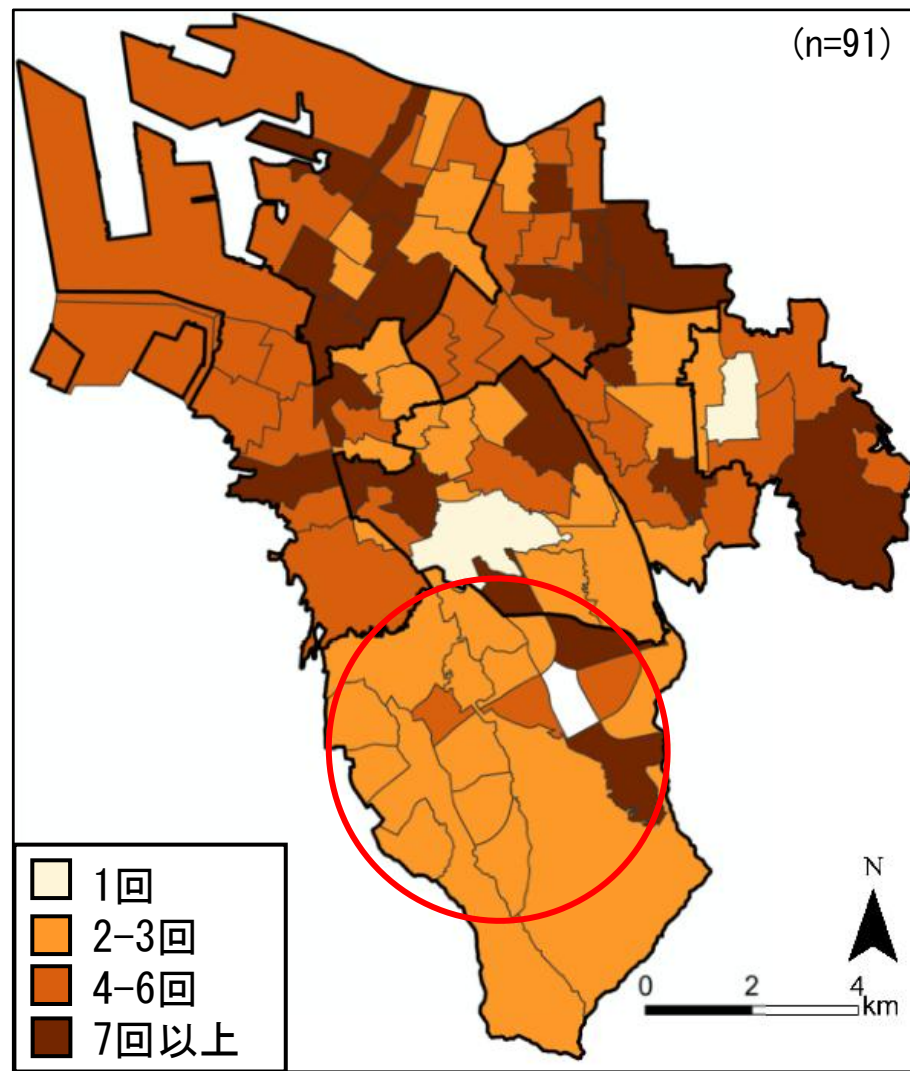
公園面積割合

(n=92)



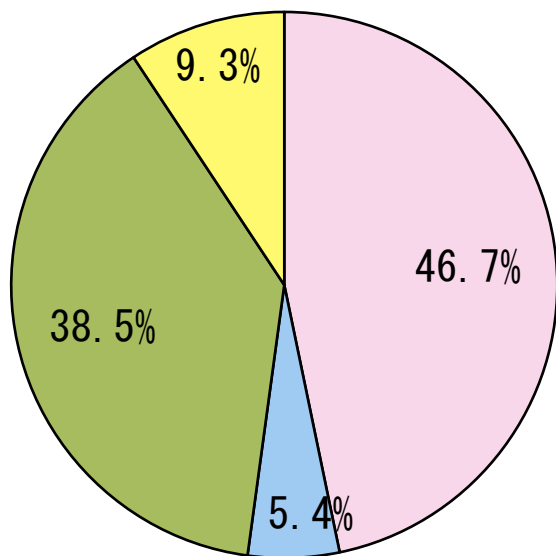
体験活動数

(n=91)

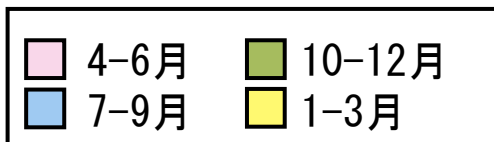


第2章：結果 -体験活動：季節・学年・種類-

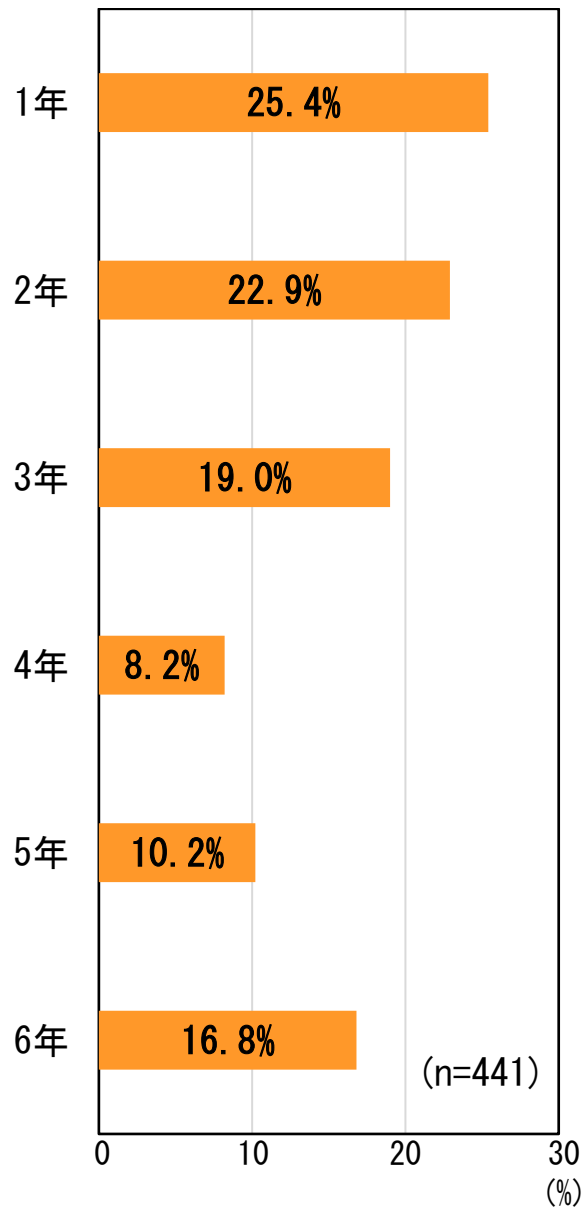
季節



(n=441)

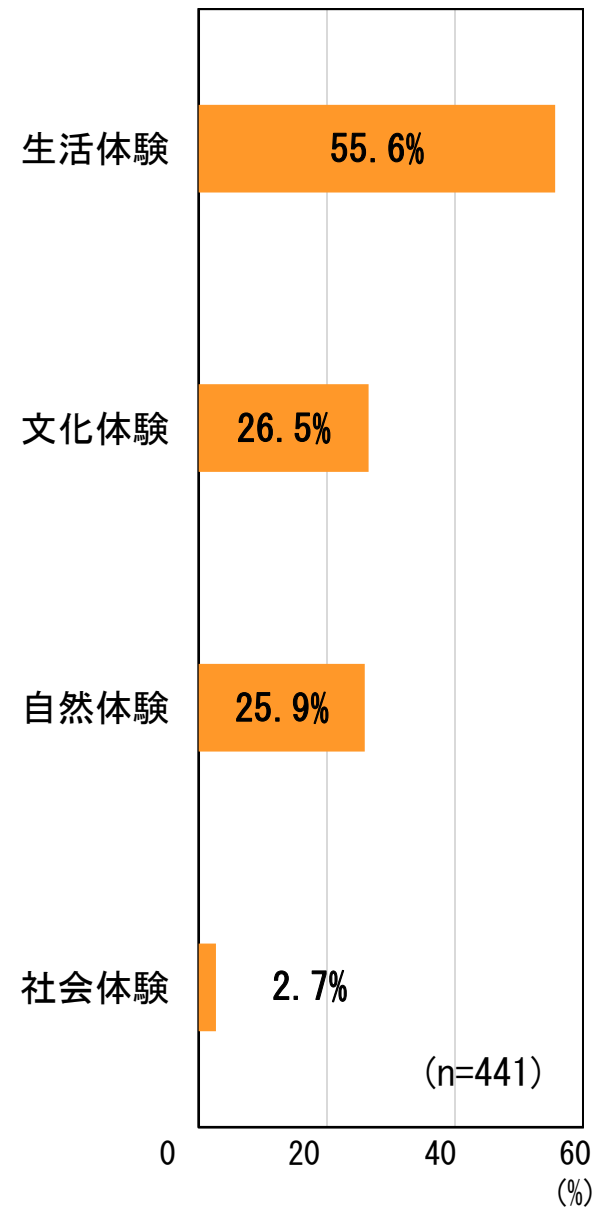


学年



(n=441)

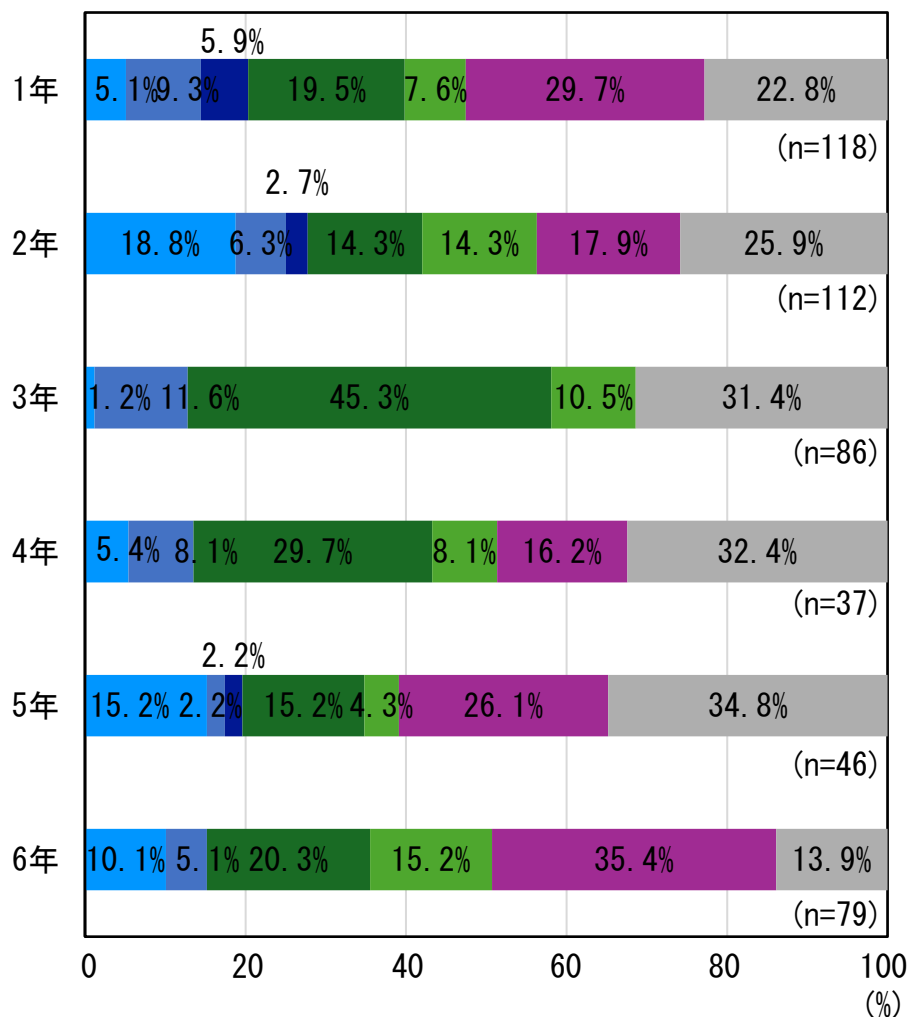
種類



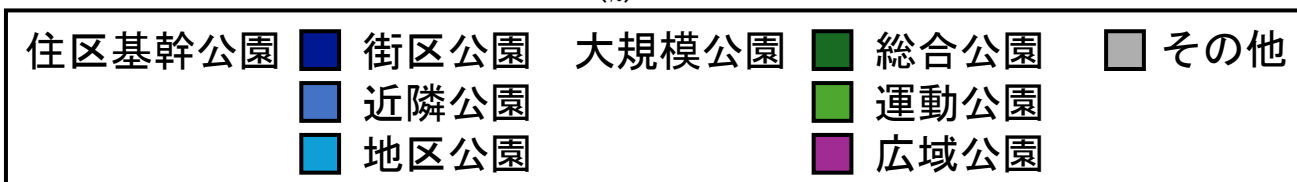
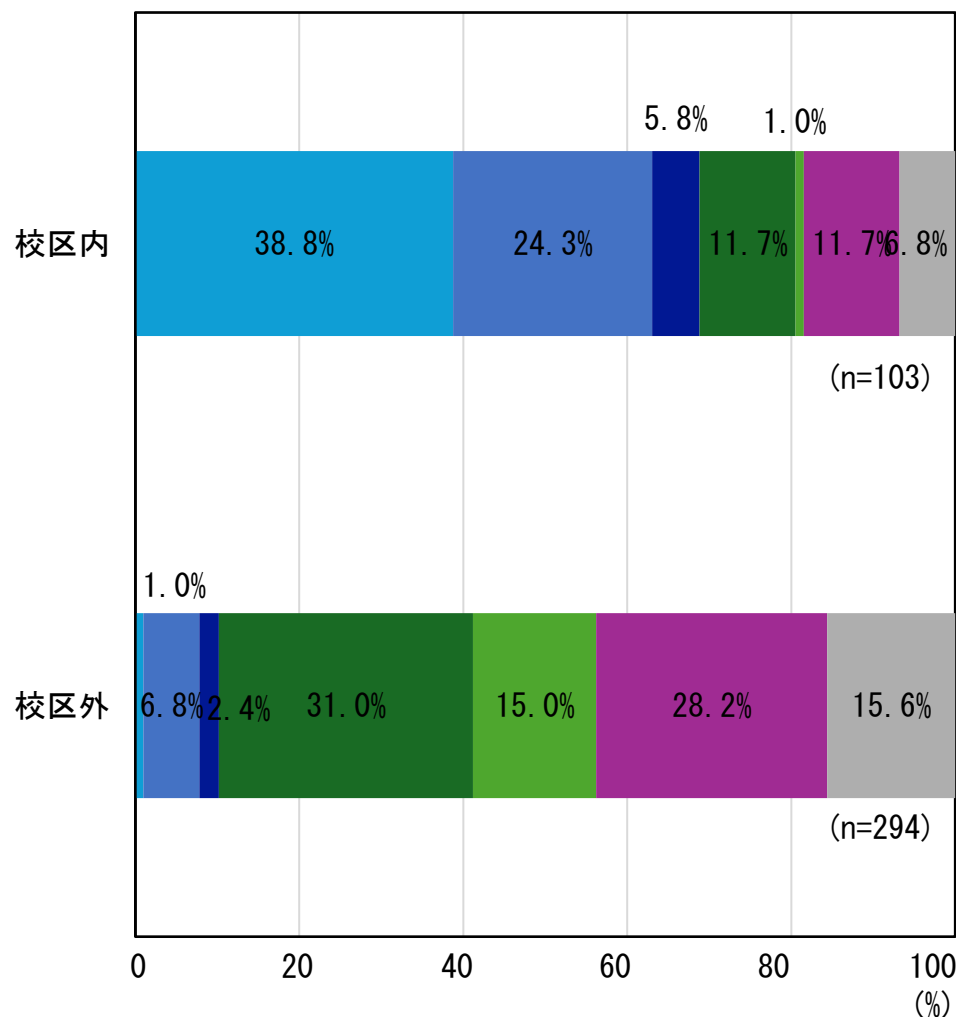
(n=441)

第2章：結果 -体験活動：公園種別と学年・所在地の関係-

公園種別と学年の関係

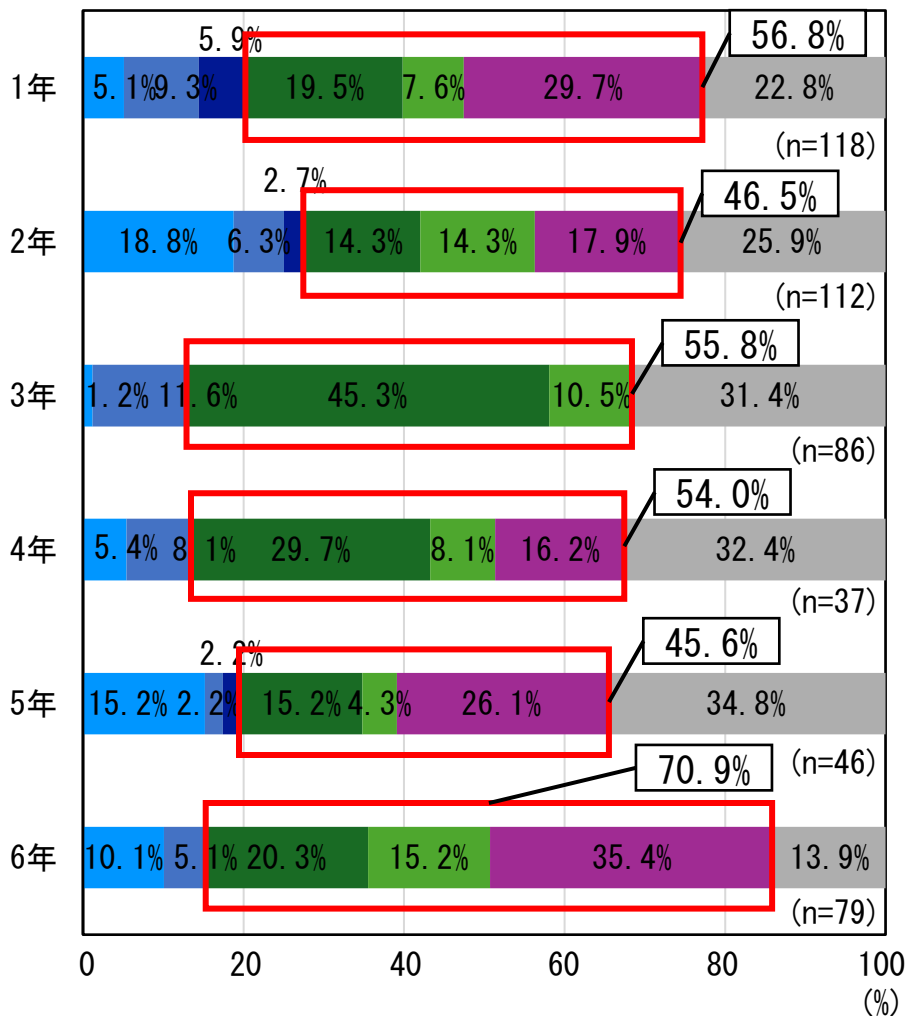


公園種別と所在地の関係

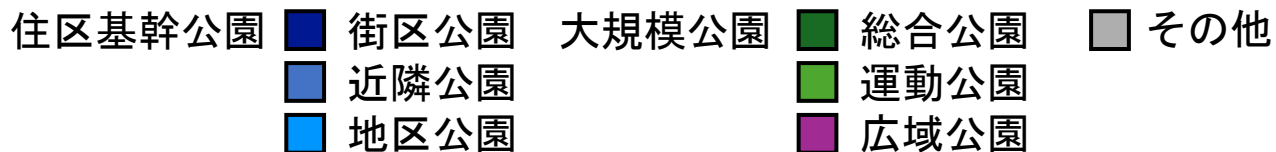
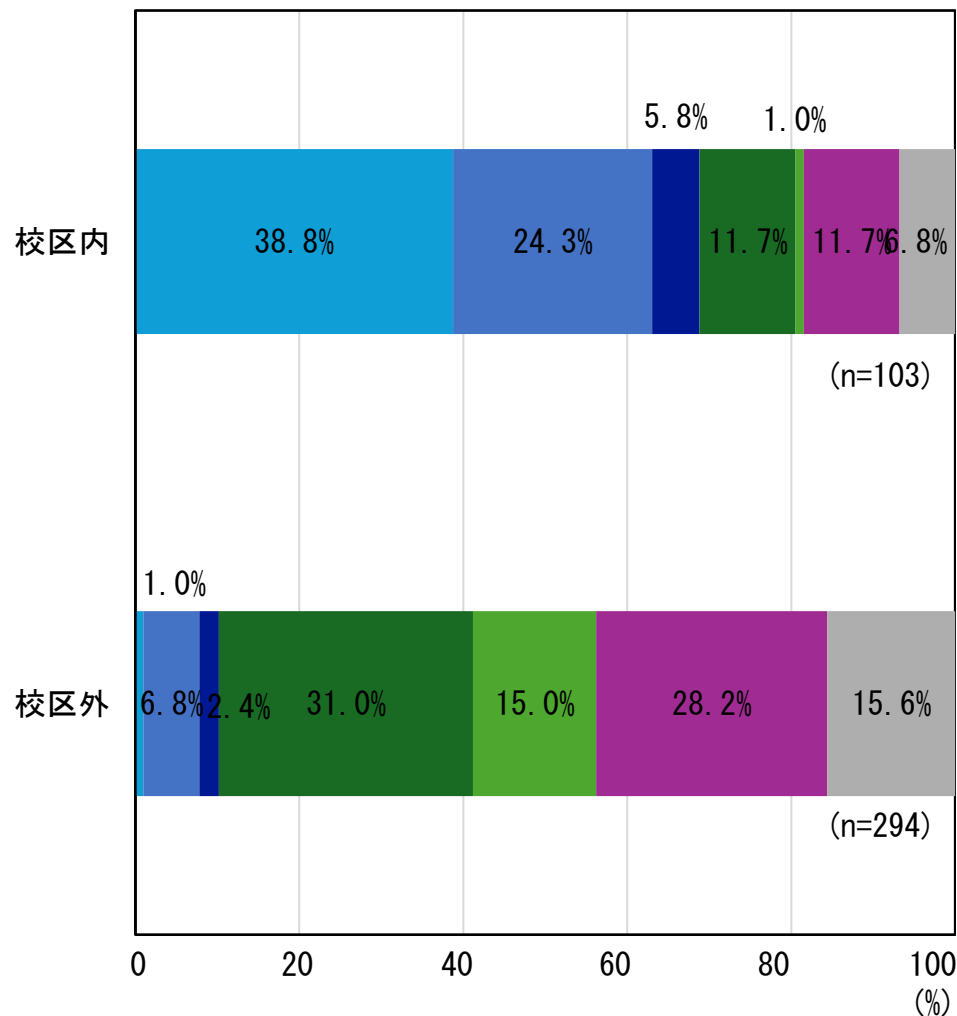


第2章：結果 -体験活動：公園種別と学年・所在地の関係-

公園種別と学年の関係

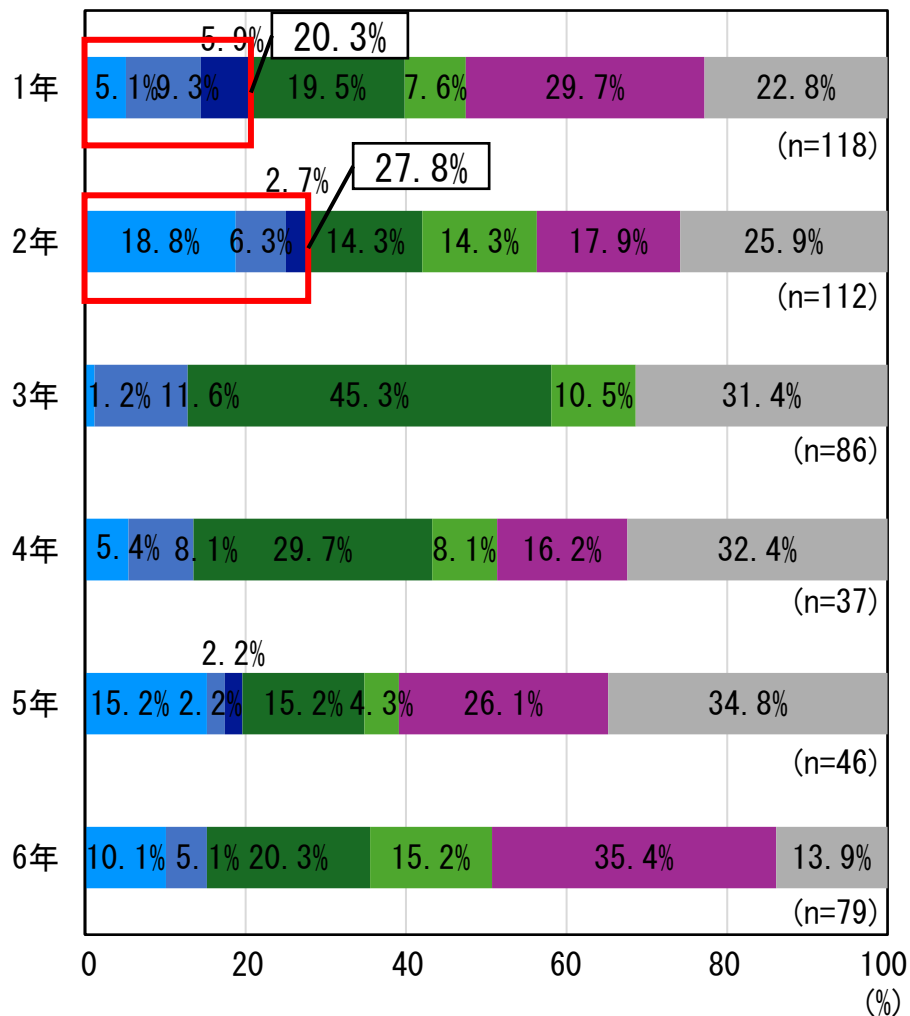


公園種別と所在地の関係

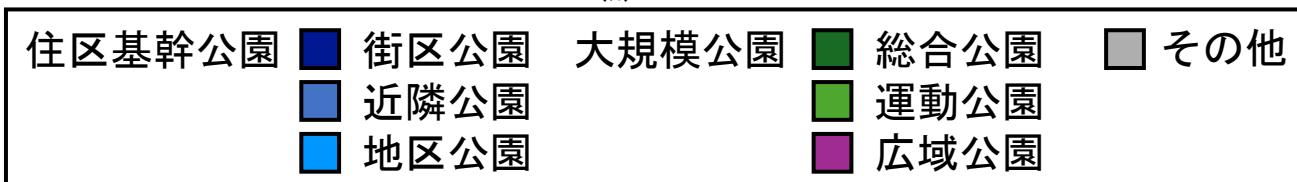
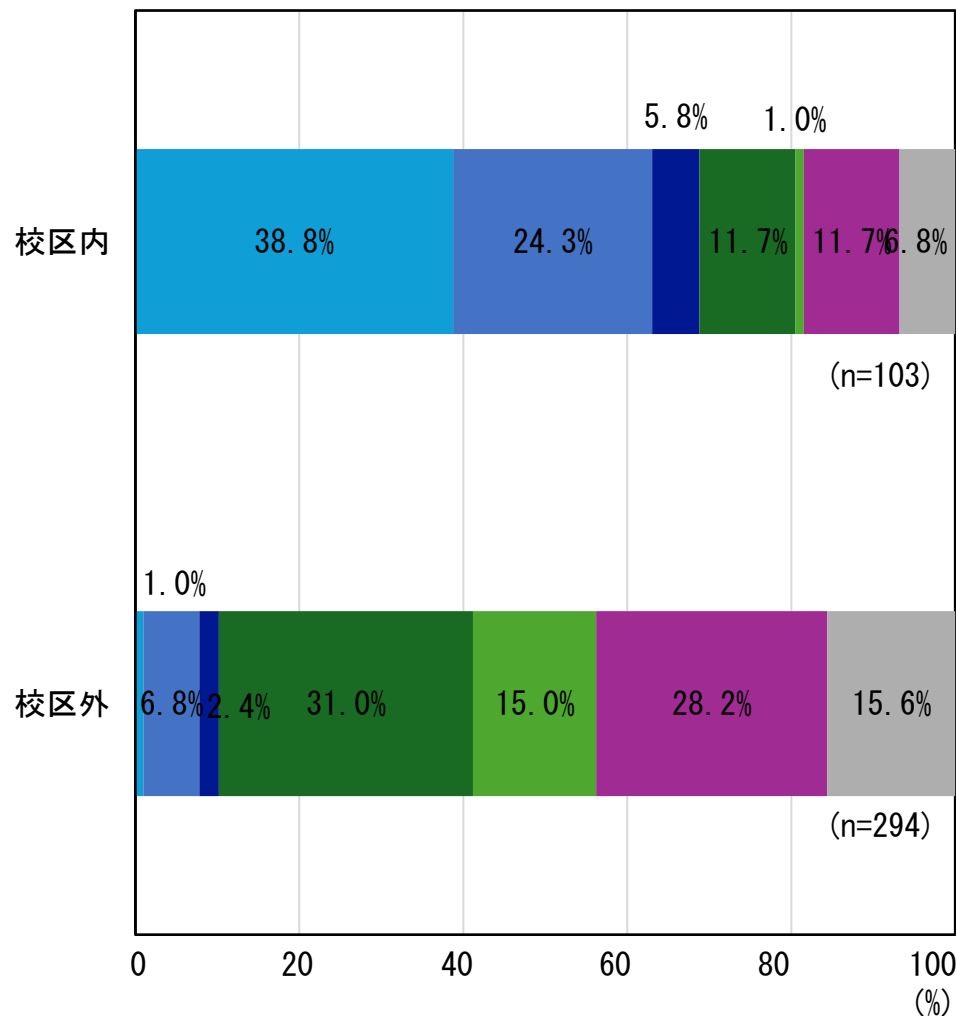


第2章：結果 -体験活動：公園種別と学年・所在地の関係-

公園種別と学年の関係

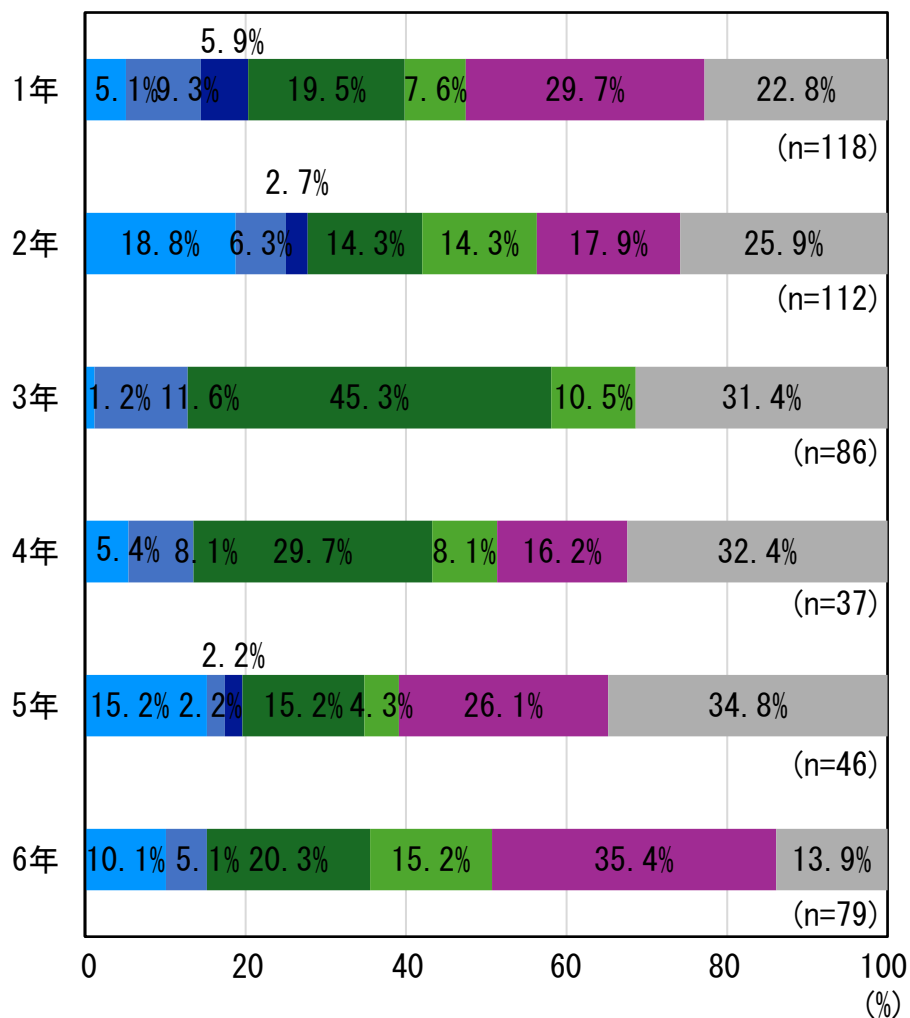


公園種別と所在地の関係

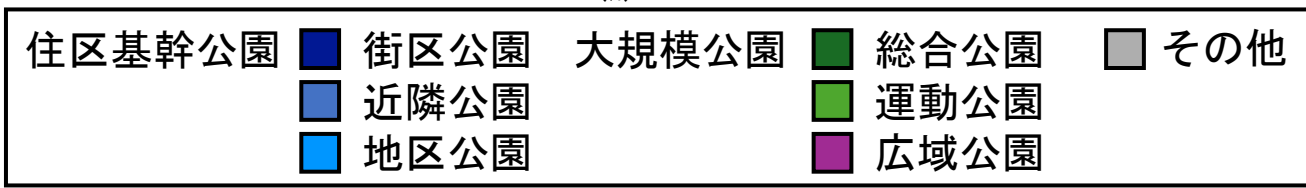
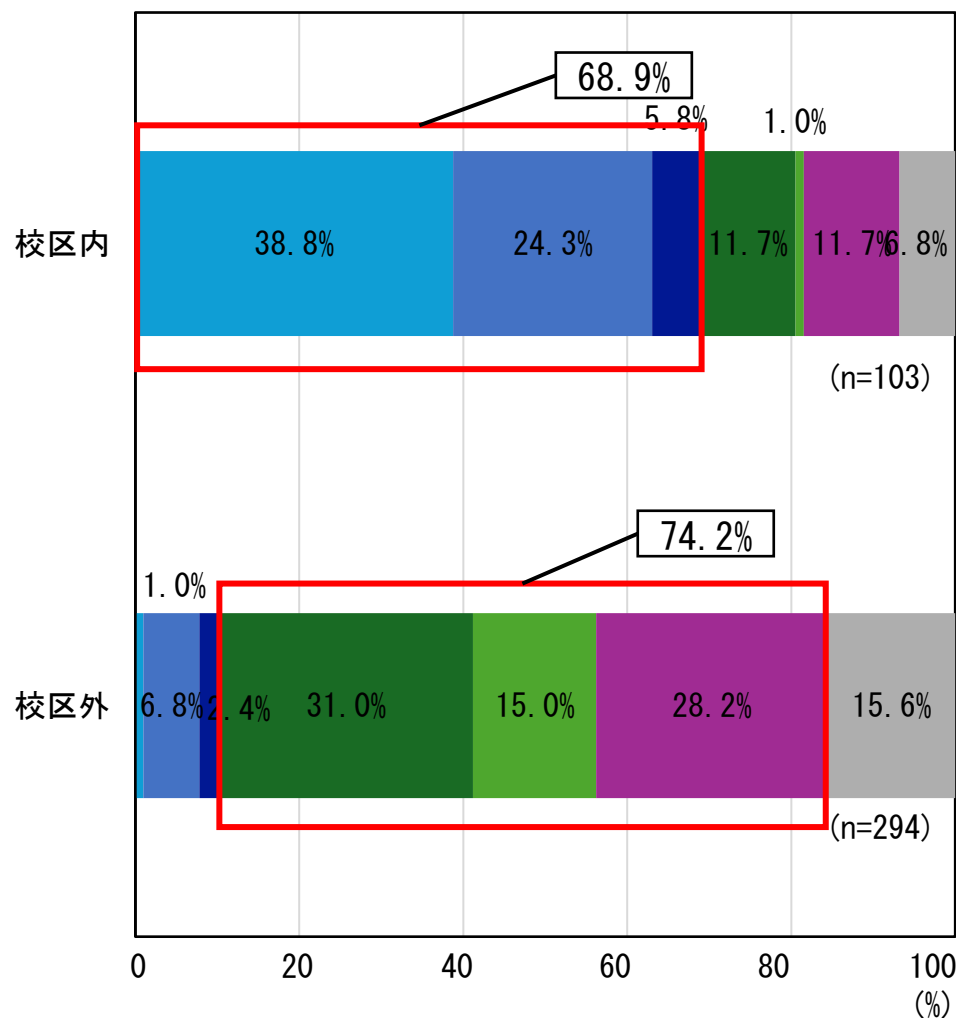


第2章：結果 -体験活動：公園種別と学年・所在地の関係-

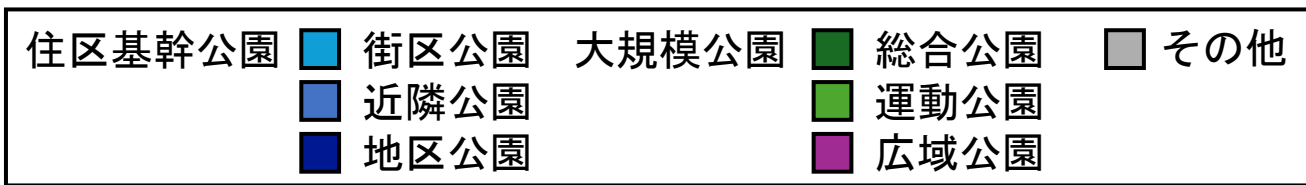
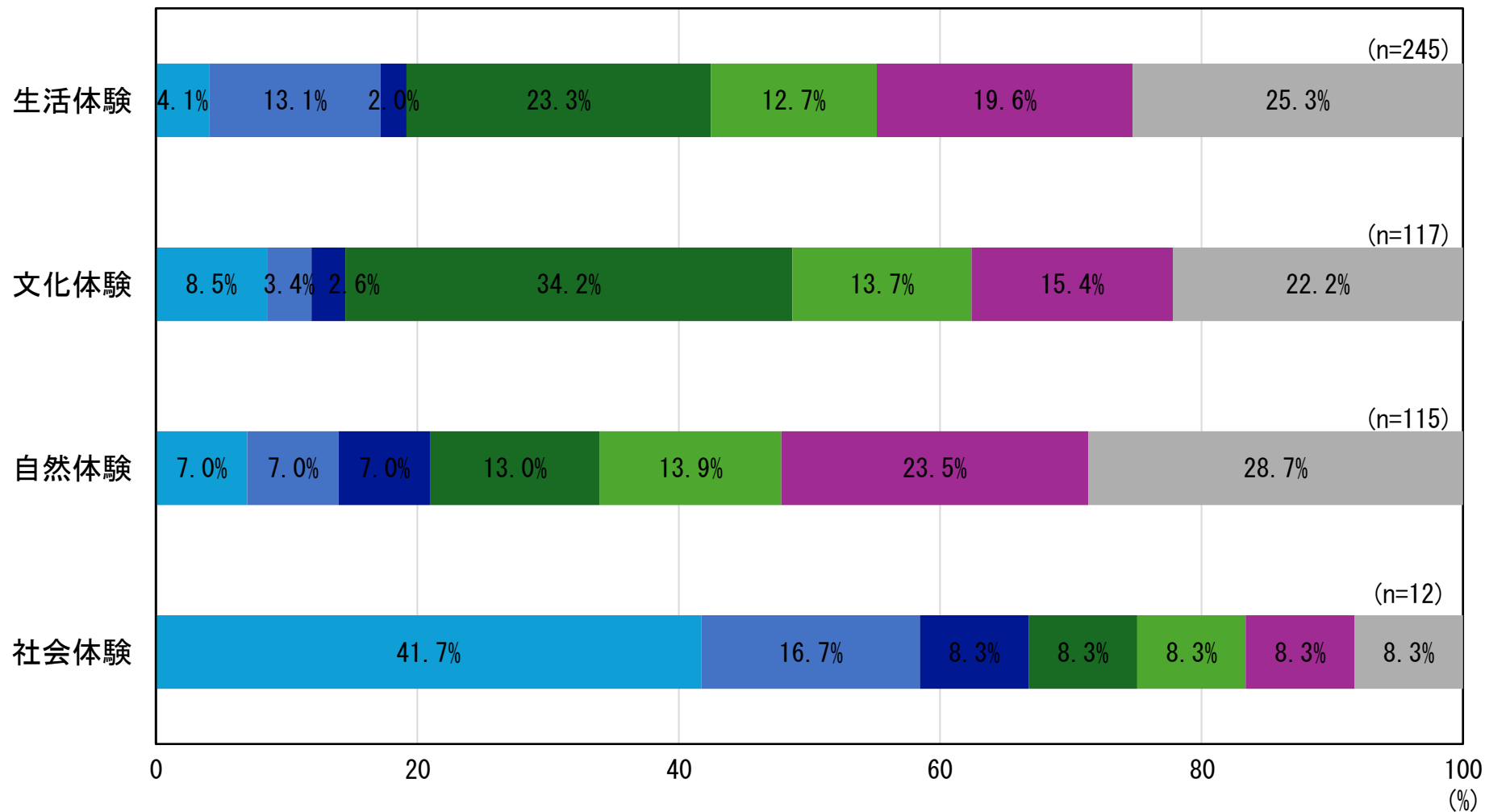
公園種別と学年の関係



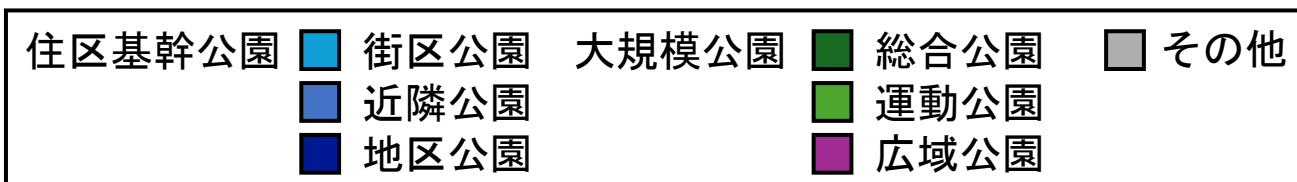
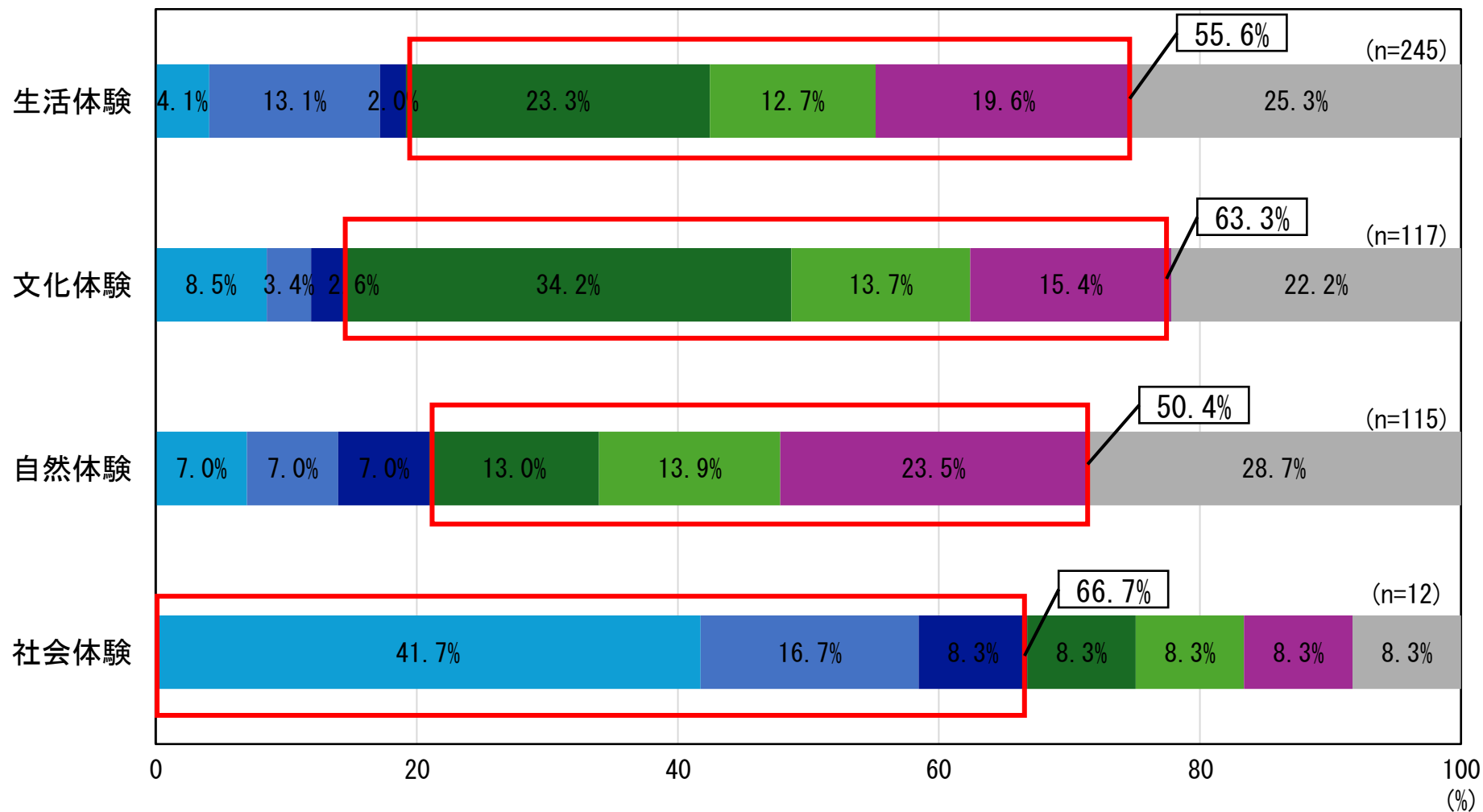
公園種別と所在地の関係



第2章：結果 -体験活動：公園種別と体験活動の関係-

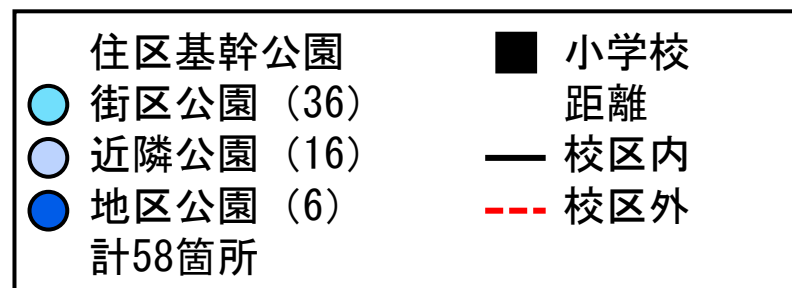
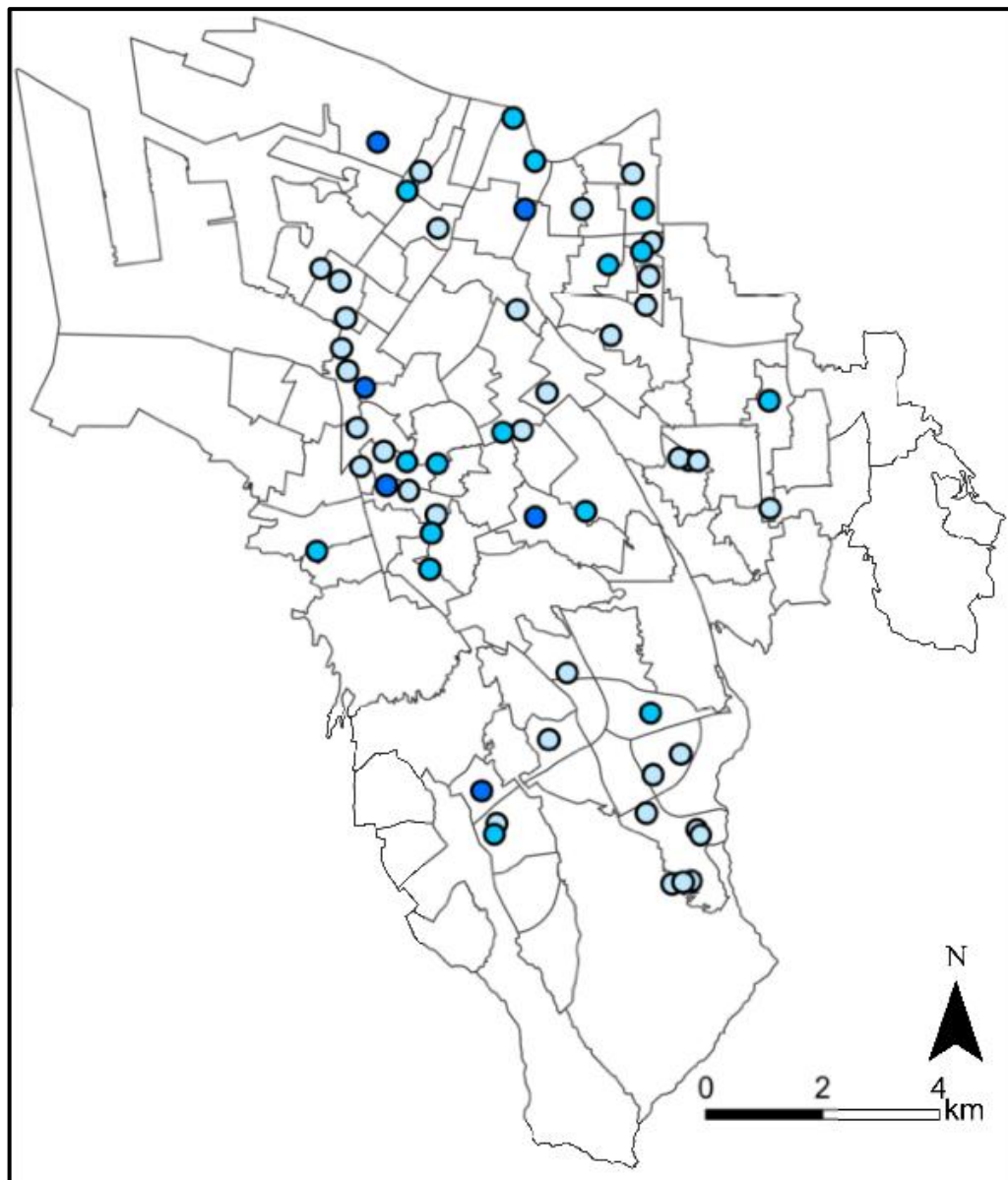


第2章：結果 -体験活動：公園種別と体験活動の関係-



第2章：結果 -体験活動：利用された都市公園の分布-

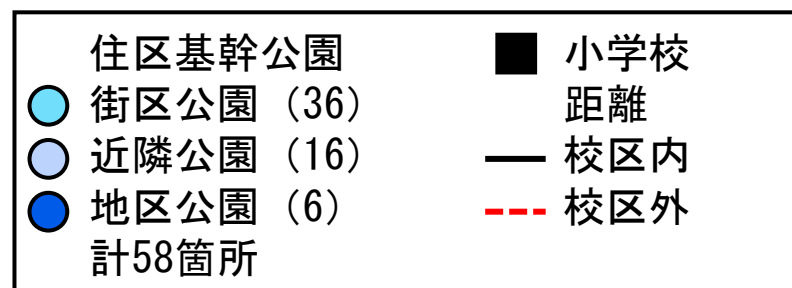
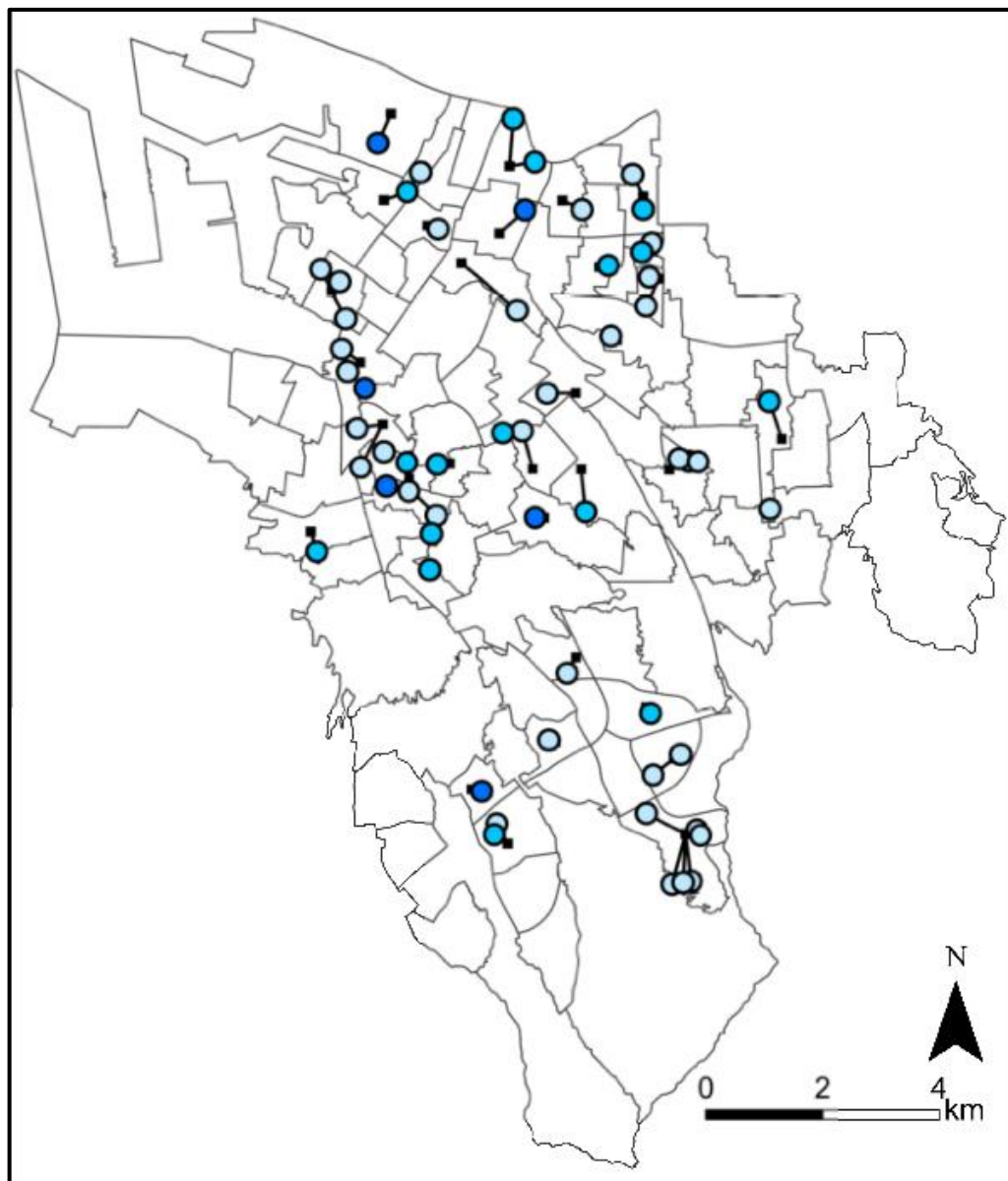
住区基幹公園



	公園種別	校区内	校区外	計
住区基幹公園	街区公園	40	3	43
	近隣公園	25	13	38
	地区公園	7	6	13
	合計	72	22	94

第2章：結果 -体験活動：利用された都市公園の分布-

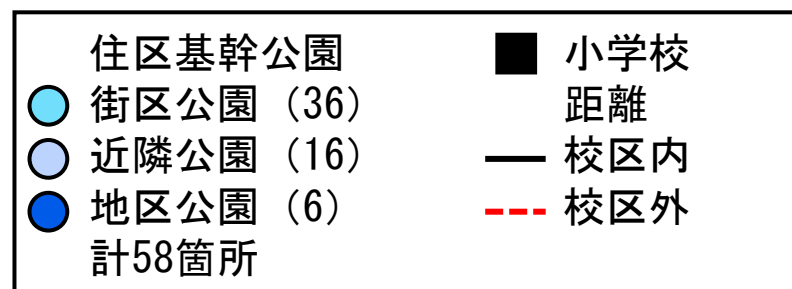
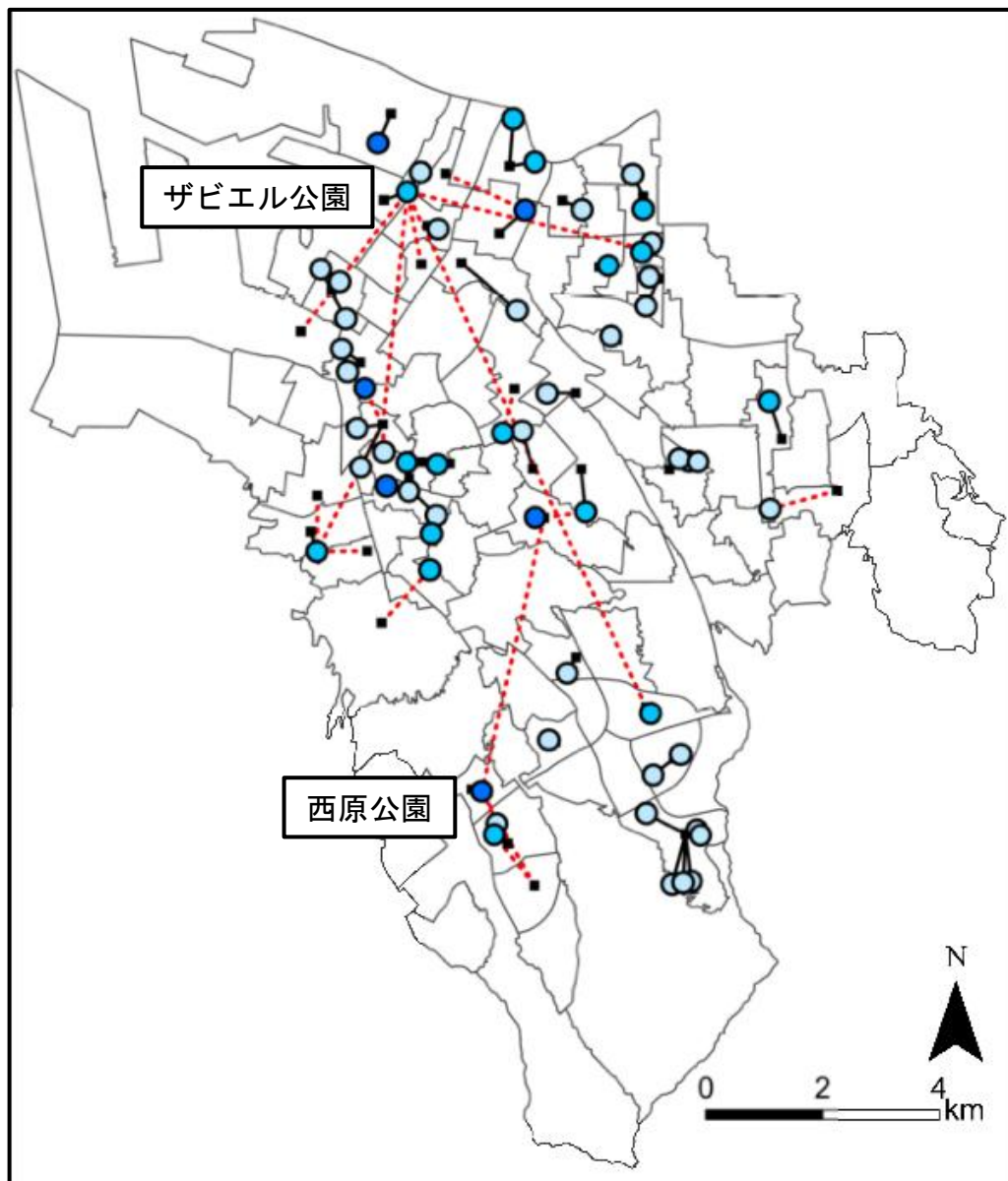
住区基幹公園



	公園種別	校区内	校区外	計
住区基幹公園	街区公園	40	3	43
	近隣公園	25	13	38
	地区公園	7	6	13
	合計	72	22	94

第2章：結果 -体験活動：利用された都市公園の分布-

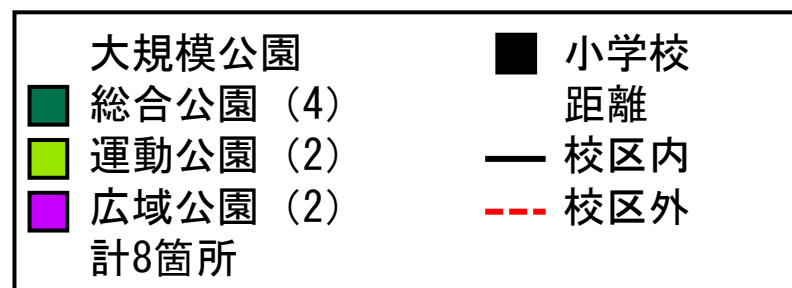
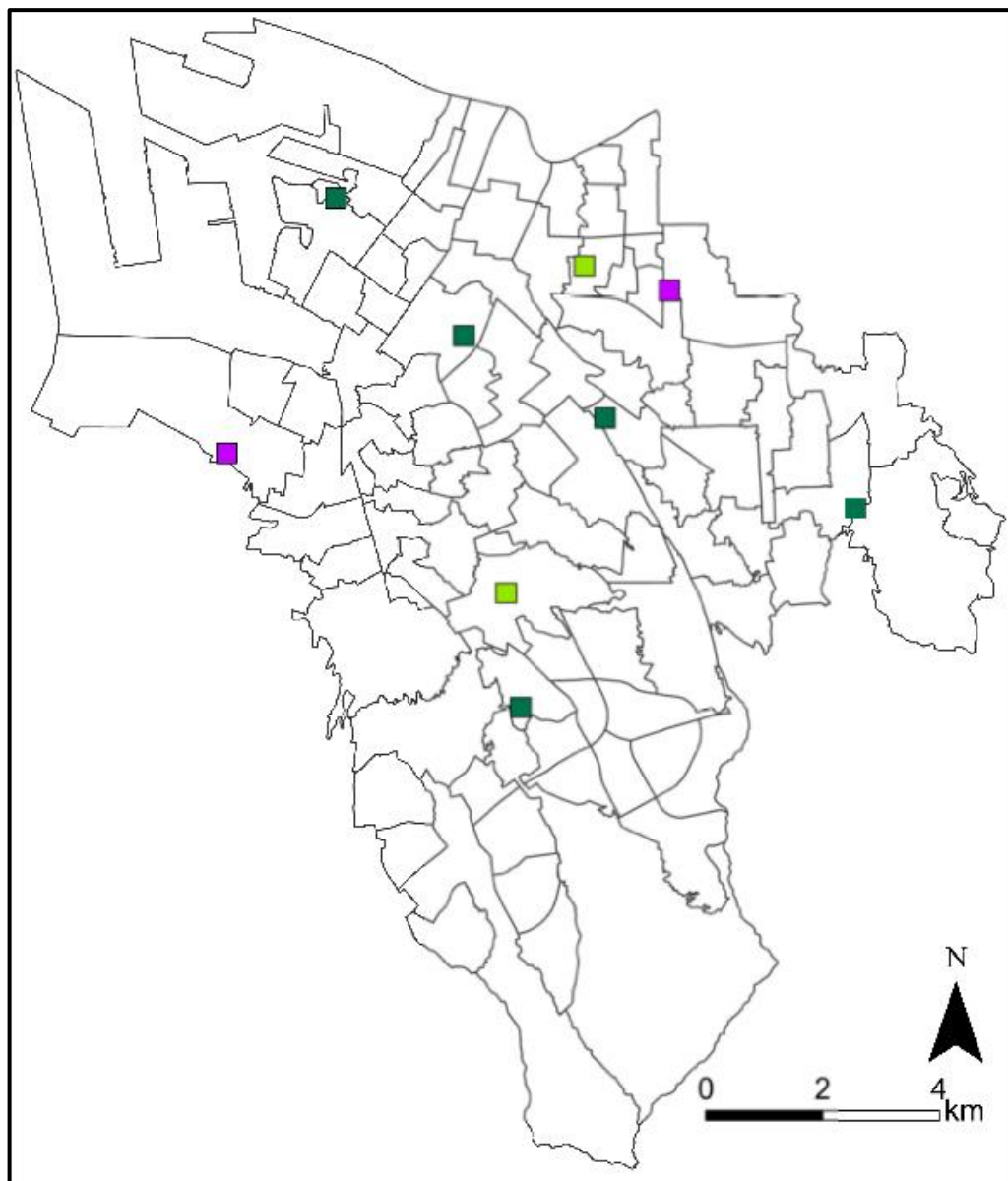
住区基幹公園



	公園種別	校区内	校区外	計
住区基幹公園	街区公園	40	3	43
	近隣公園	25	13	38
	地区公園	7	6	13
	合計	72	22	94

第2章：結果 -体験活動：利用された都市公園の分布-

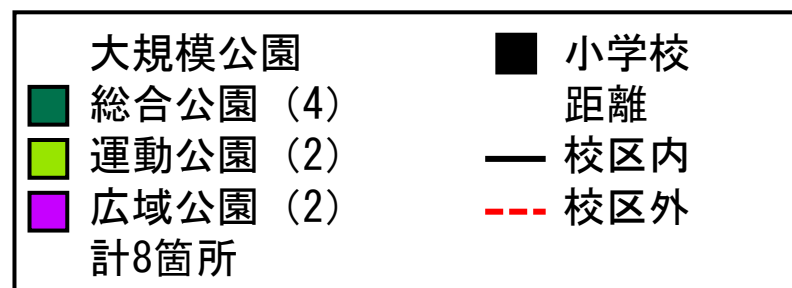
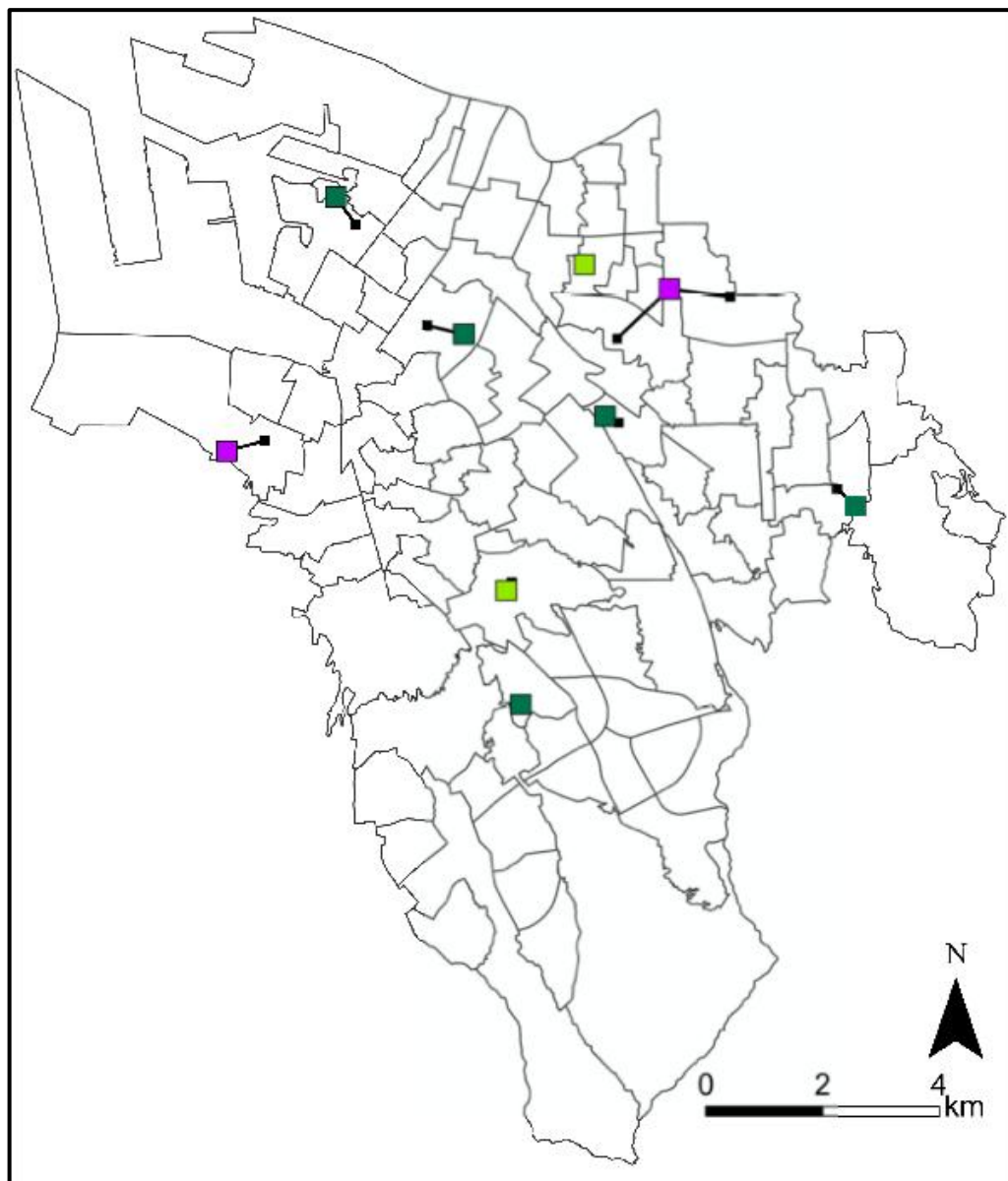
大規模公園



	公園種別	校区内	校区外	計
大規模公園	総合公園	13	72	85
	運動公園	1	13	14
	広域公園	12	33	45
	合計	26	118	144

第2章：結果 -体験活動：利用された都市公園の分布-

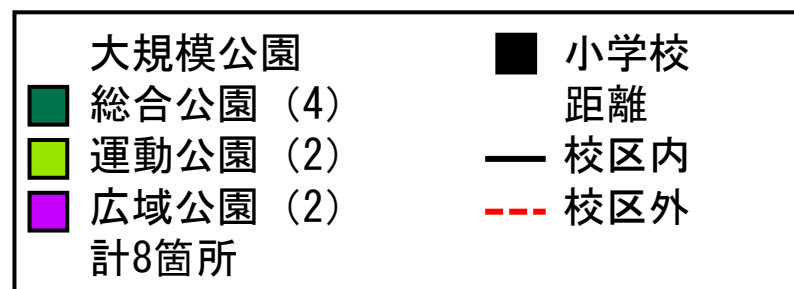
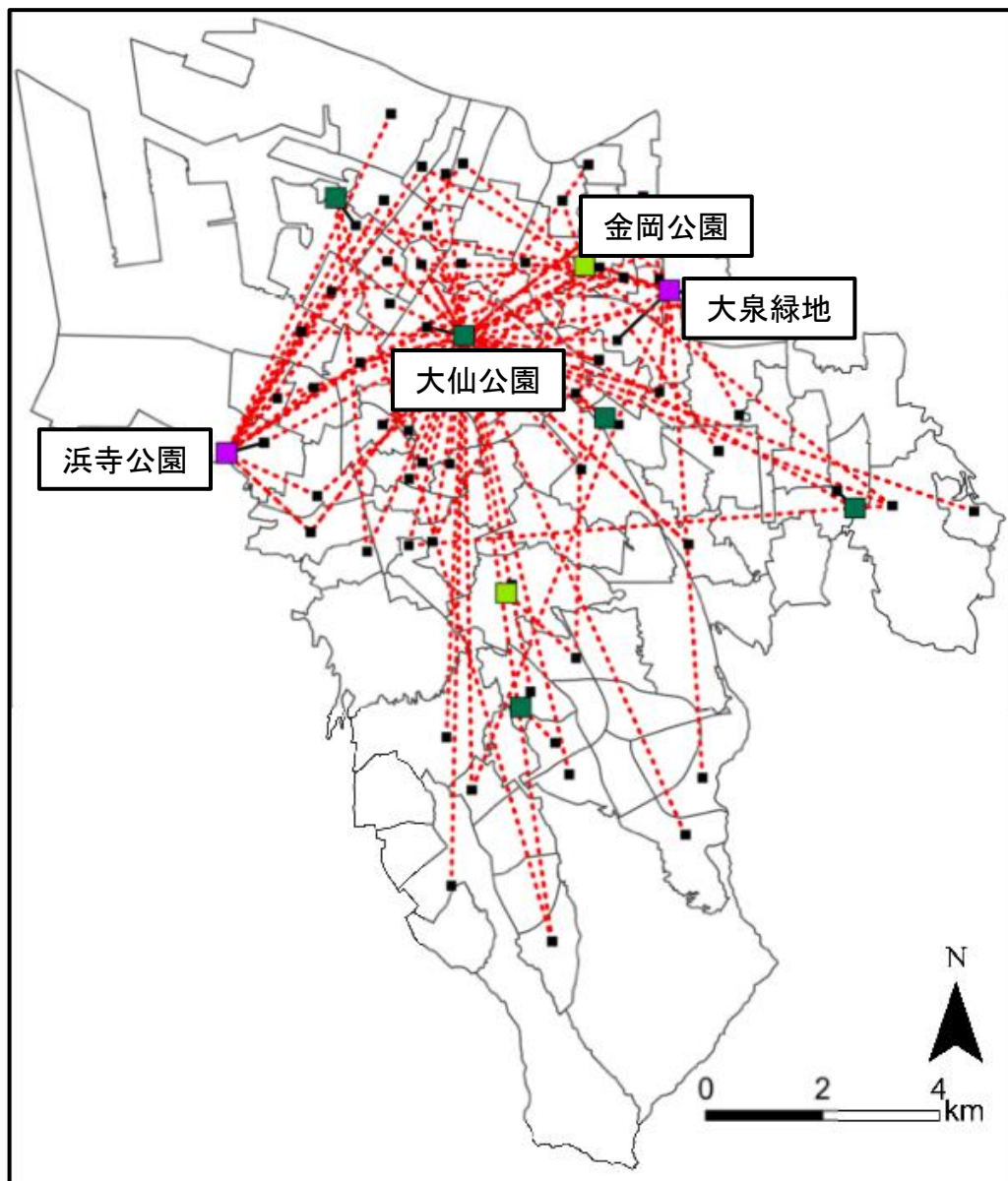
大規模公園



	公園種別	校区内	校区外	計
大規模公園	総合公園	13	72	85
	運動公園	1	13	14
	広域公園	12	33	45
	合計	26	118	144

第2章：結果 -体験活動：利用された都市公園の分布-

大規模公園



	公園種別	校区内	校区外	計
大規模公園	総合公園	13	72	85
	運動公園	1	13	14
	広域公園	12	33	45
	合計	26	118	144

第2章：研究方法 -体験活動のヒアリング調査-

ヒアリング調査の概要

[調査対象]：体験活動数7回以上の22校

- ◎校区内の住区基幹公園を頻繁に利用する学校(9校から槇塚台と深阪)
- ◎校区内の大規模公園を頻繁に利用する学校(2校の大仙と北八下)
- ◎校区外の都市公園を頻繁に利用する学校(11校から平尾と八下西)

[調査日時]：2025年11月～12月

[調査方法]：ヒアリングシートを事前に送付した対面でのヒアリング形式

[調査項目]：「都市公園を利用した際の教科及びその時間数」

「都市公園を利用するうえで重要視していること」

第2章：結果 -体験活動：重要視した項目・教科-

	小学校名	校区内の住区基幹公園を頻繁に利用する		校区内の大規模公園を頻繁に利用する		校区外の都市公園を頻繁に利用する	
		榎塚台 (南区)	深阪 (中区)	大仙 (堺区)	北八下 (北区)	平尾 (美原区)	八下西 (東区)
重要視した項目	体験活動に十分な広さがある			○	○	○	
	公園へのアクセスが良い	○	○	○	○	○	○
	植物の量と種類が充実している				○	○	
	生き物を観察できる環境がある				○	○	
	水辺の環境がある			○	○		
	遊具が充実している				○	○	
	博物館などの施設が充実している						
	風雨や日差しをしのげる場所がある						○
	案内人や指導員などの専門家がいる						
	案内板や説明板などがある						
	地域の人々と触れ合える環境がある	○	○				
	体験活動の安全性が確保できる	○	○	○		○	○
	公園だけでなく、公園と合わせて利用できる体験活動の場が周辺にある						
	その他						トイレの数
教科		生活	総合	理科	理科	社会	社会
				生活	生活	生活	理科
				総合	総合	特別活動	生活
				特別活動	特別活動	昼食	体育
					学校行事	学校行事	総合
							支援学級

第3章：研究方法 -体験活動の場としての大規模公園の利用実態-

[調査対象]：大阪府営浜寺公園

[調査方法]

● 浜寺公園の公園特性

→ArcGIS Proを用いて、施設別に面積を計算

● 浜寺公園での体験活動

<調査文献>：浜寺公園申込書・利用予定表
(2024年度)

<調査項目>

小学校名、利用日時、利用人数、
利用施設、利用内容、移動方法、

→小学校の所在地から移動距離を算出

→移動距離、利用人数、滞在時間、
利用施設を用いてクラスター分析

浜寺公園申込書

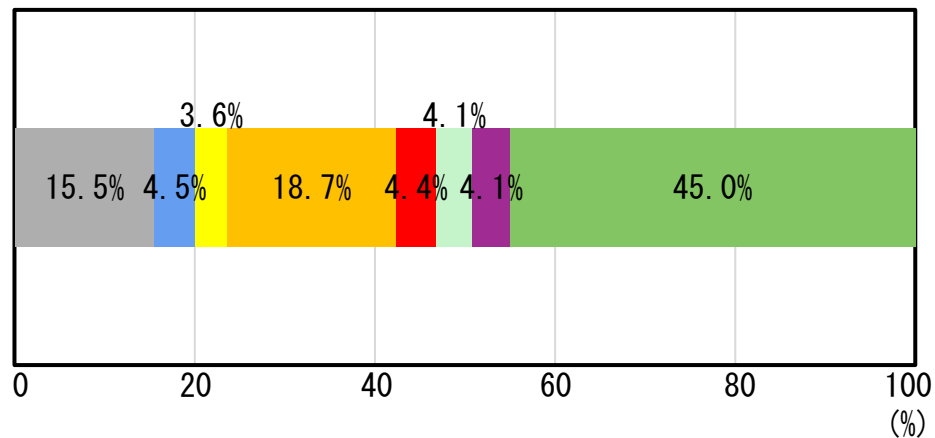
浜寺公園ご利用 申込書

遠足などで浜寺公園をご利用になる団体様は申込書の記入をお願いします。
ご利用内容に応じて浜寺公園事務所より必要事項、書類をご連絡いたします。

		申込日	年	月	日
ご利用目的(遠足等)					
団体名					
ご担当者 氏名・連絡先					
ご担当者 連絡先(電話・FAX)	電話：	FAX：			
ご利用年月日・時間	年	月	日 ()	:	~
該当を○で囲ってください	予備日あり	年	月	日 ()	・予備日無し ※雨天延期やキャンセルの場合はご連絡ください
ご利用内容	○ 公園散策・児童遊技場				
該当を○で囲ってください 複数の場合、該当項目	○ バラ庭園散策 休園日 火曜日 (祝日の場合は翌日) 休園日をご確認ください。				
全てを○で囲ってください。	○ 交通遊園 (ゴーカー) 休園日 火曜日 (祝日の場合は翌日) ※まず、交通遊園事務所 (072-261-8696) への予約いただいて日時が決定したら、 ご利用の2週間前までに管理事務所へ申請書を提出ください				
	○ オリエンテーリングなど (公園の一部を占有する) 申請書が必要です				
	○ 仮設工作物設置(テントなどイベント、大会の受付などで使用の場合) 申請書が必要です				
ご利用詳細 行動計画を記載ください					
ご利用人数	子供	人			
	大人	人			
	合計	人			
ご来園方法 ○で囲んで下さい	電車	バス	乗用車	徒歩	

第3章：結果 -浜寺公園の公園特性-

土地利用



- | | | |
|--------|------|------|
| 園路及び広場 | 運動施設 | 管理施設 |
| 修景施設 | 教養施設 | 樹林地 |
| 遊戯施設 | 便益施設 | |

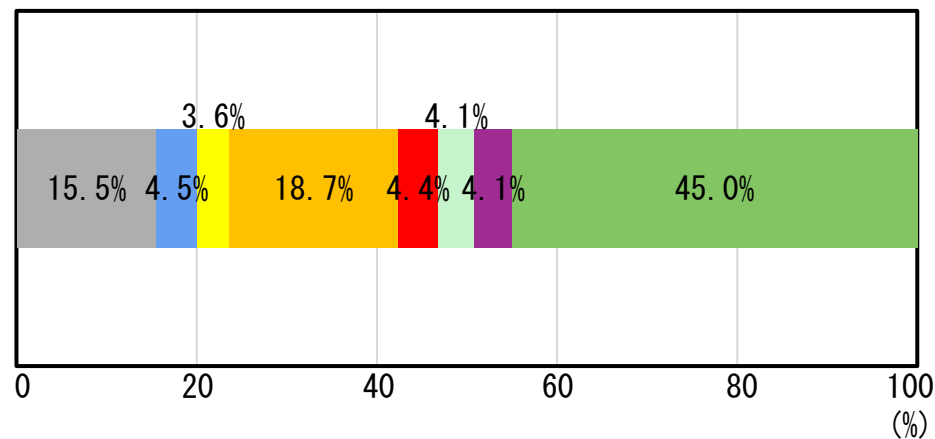
土地利用



樹林地



引用：浜寺公園HP



- | | | |
|--------|------|------|
| 園路及び広場 | 運動施設 | 管理施設 |
| 修景施設 | 教養施設 | 樹林地 |
| 遊戯施設 | 便益施設 | |

第3章：結果 -浜寺公園の公園特性-

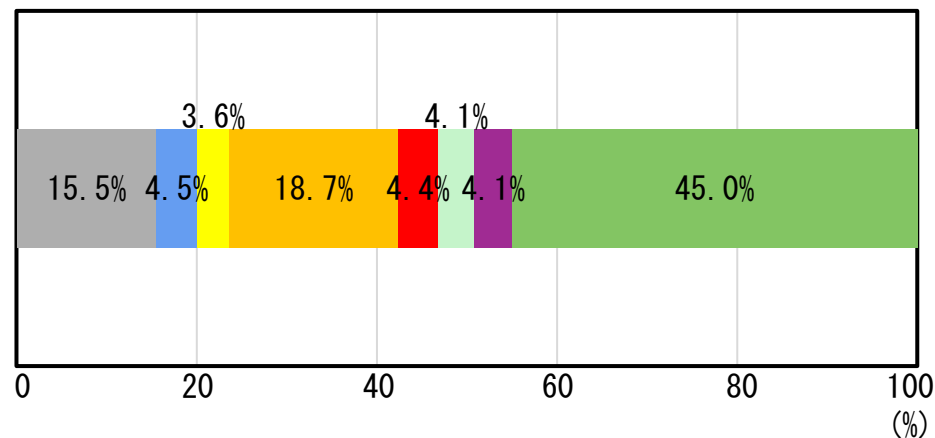
土地利用



ばら庭園



引用：浜寺公園HP



第3章：結果 -浜寺公園の公園特性-

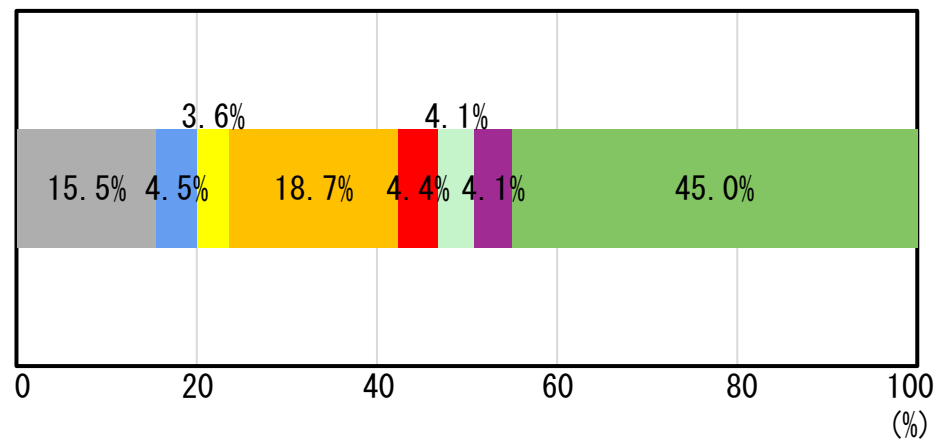
土地利用



交通遊園



引用：浜寺公園HP



- 園路及び広場
- 修景施設
- 遊戯施設
- 運動施設
- 教養施設
- 便益施設
- 管理施設
- 樹林地

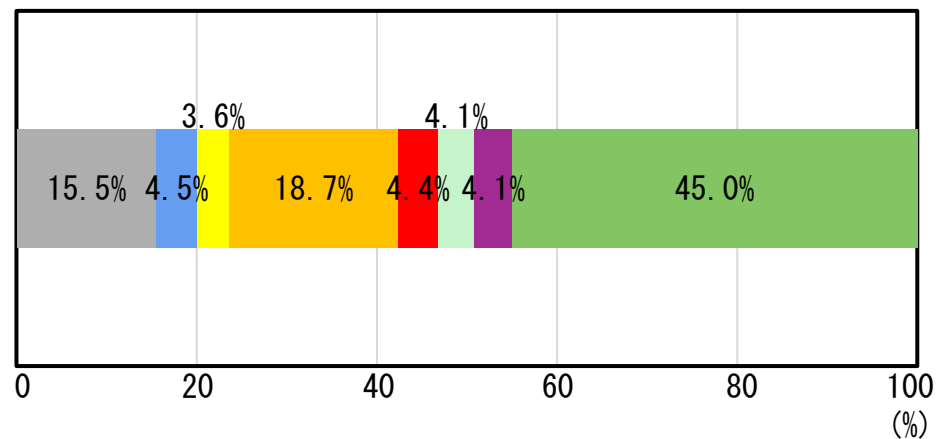
土地利用



児童遊戯場



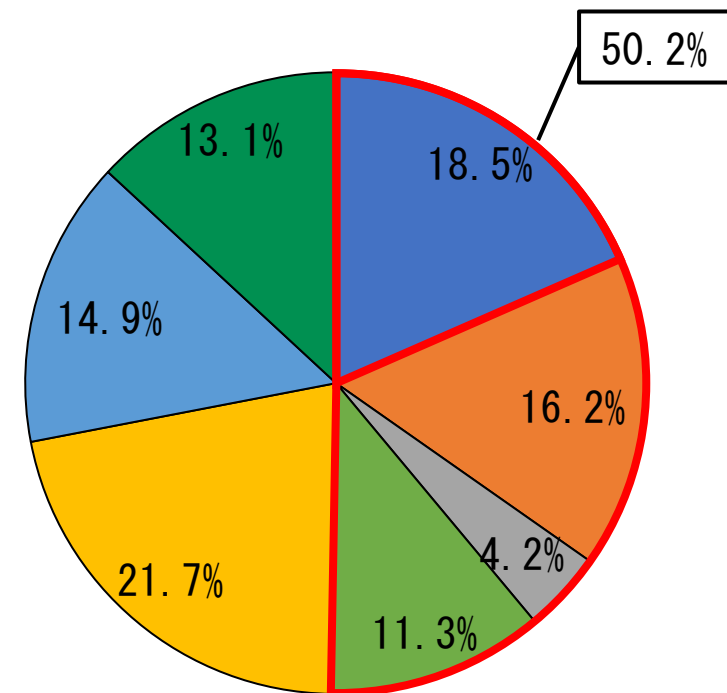
引用：浜寺公園HP



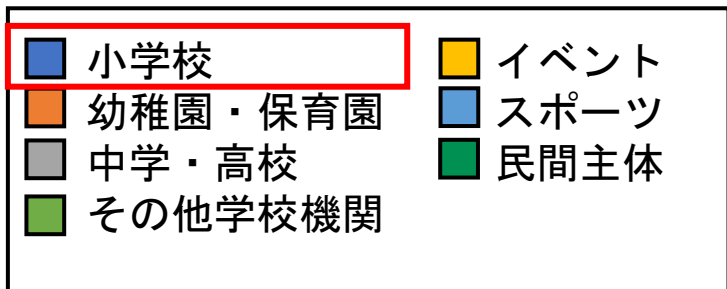
- | | | |
|--------|------|------|
| 園路及び広場 | 運動施設 | 管理施設 |
| 修景施設 | 教養施設 | 樹林地 |
| 遊戯施設 | 便益施設 | |

第3章：結果 -体験活動：団体・小学校の位置-

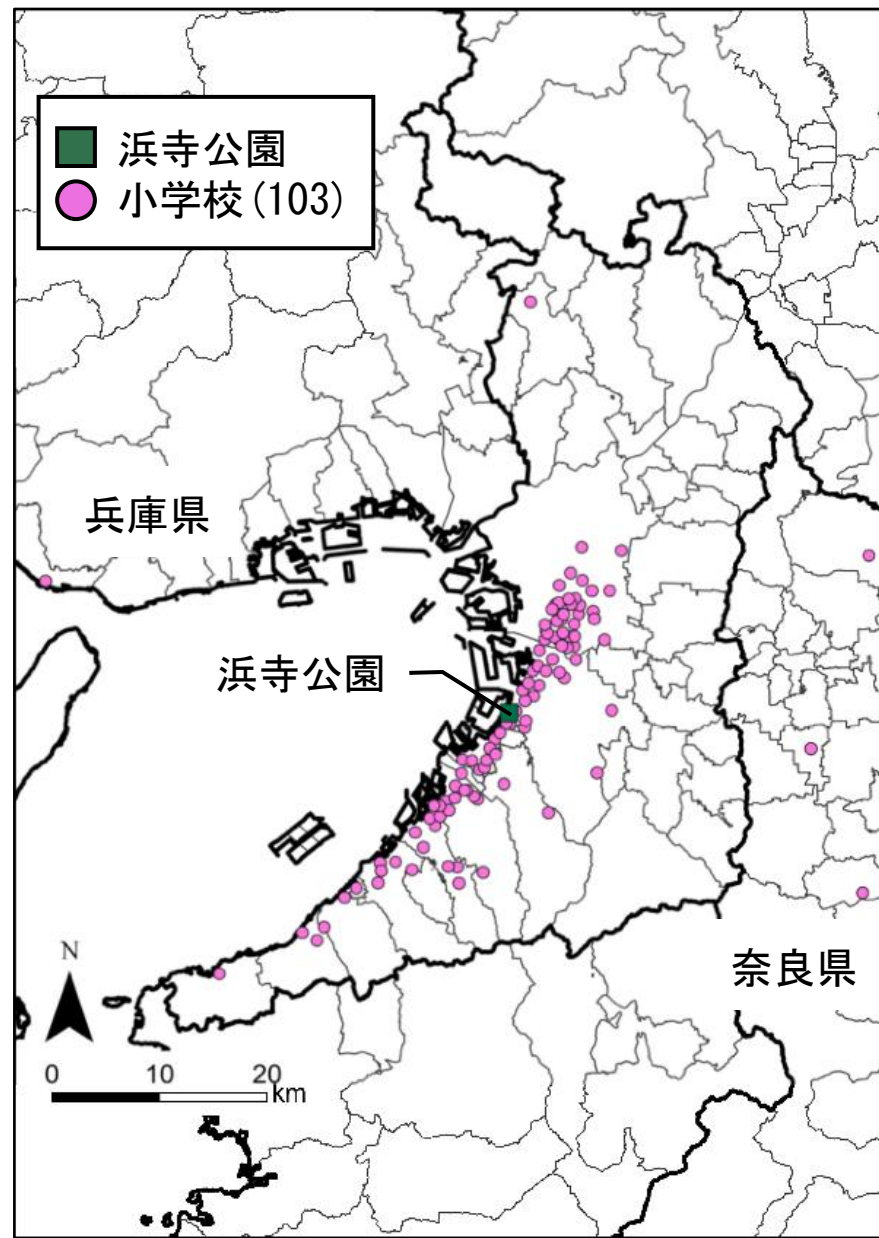
団体



(n=617)

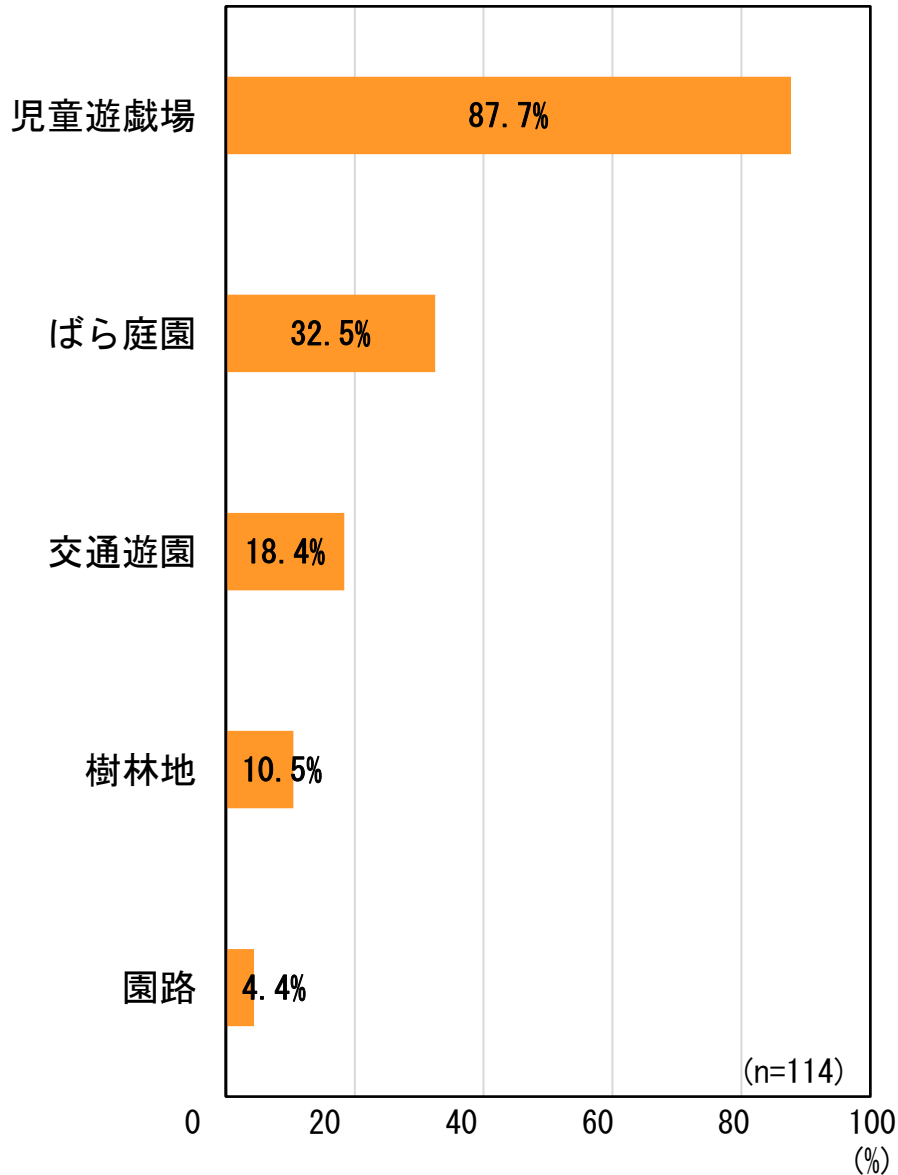


小学校の位置

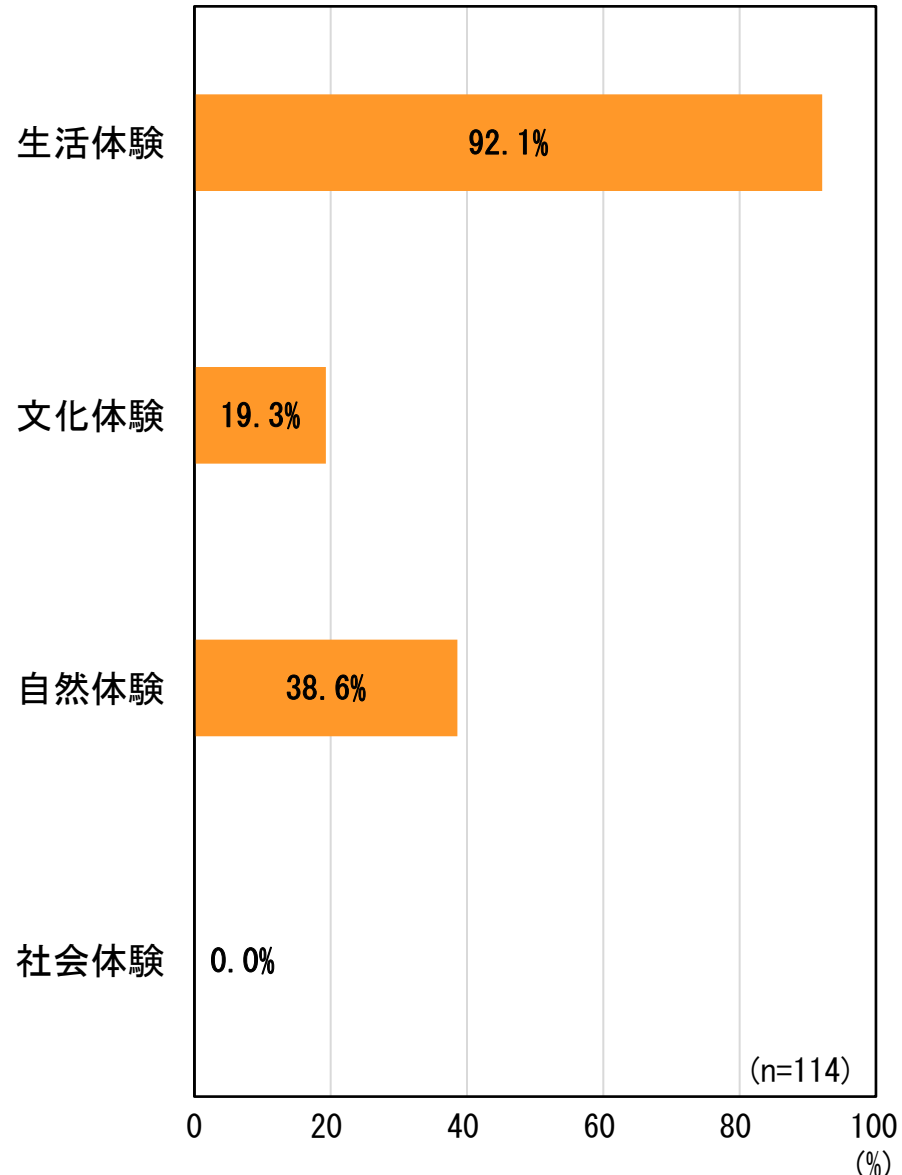


第3章：結果 -体験活動：園内施設・体験活動の種類-

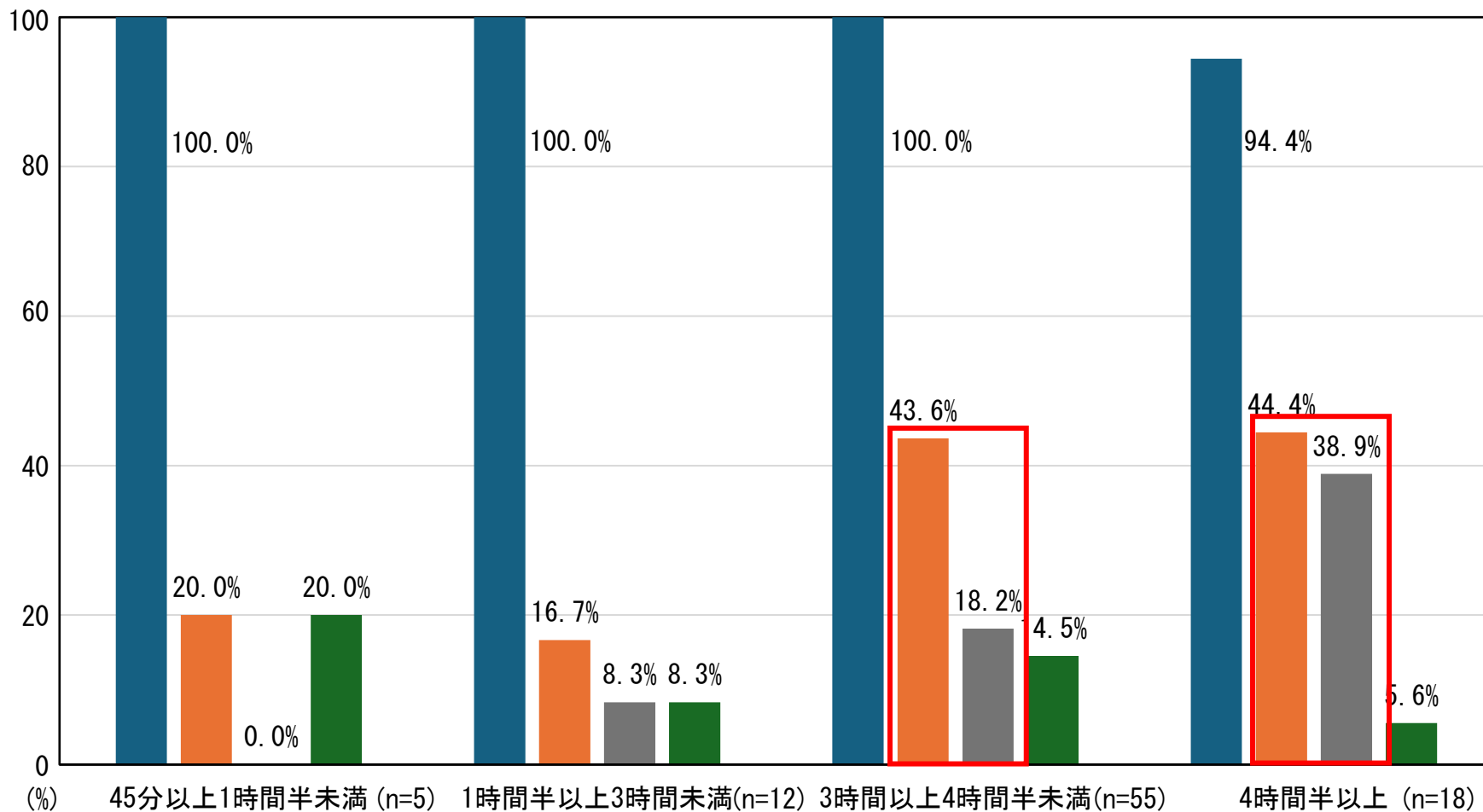
園内施設



体験活動の種類

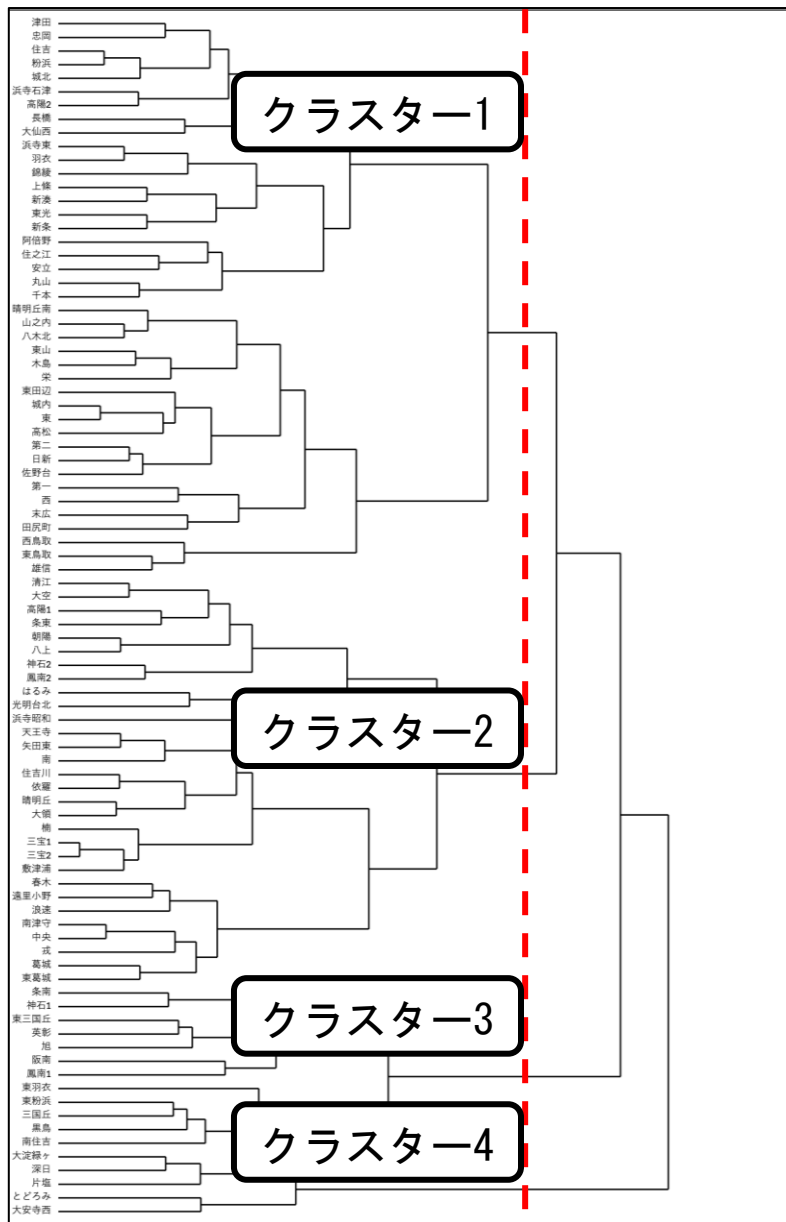


第3章：結果 -体験活動：滞在時間と園内施設の関係-



第3章：結果 -体験活動：公園の利用タイプ-

クラスター分析 (移動距離、利用人数、滞在時間、利用施設の欠損値を除いた88体験)



クラスター1 (41体験)

- ・長時間滞在を行う「長時間型」

クラスター2 (30体験)

- ・近隣校がバラ庭園を目的に来訪する「バラ庭園型」

クラスター3 (12体験)

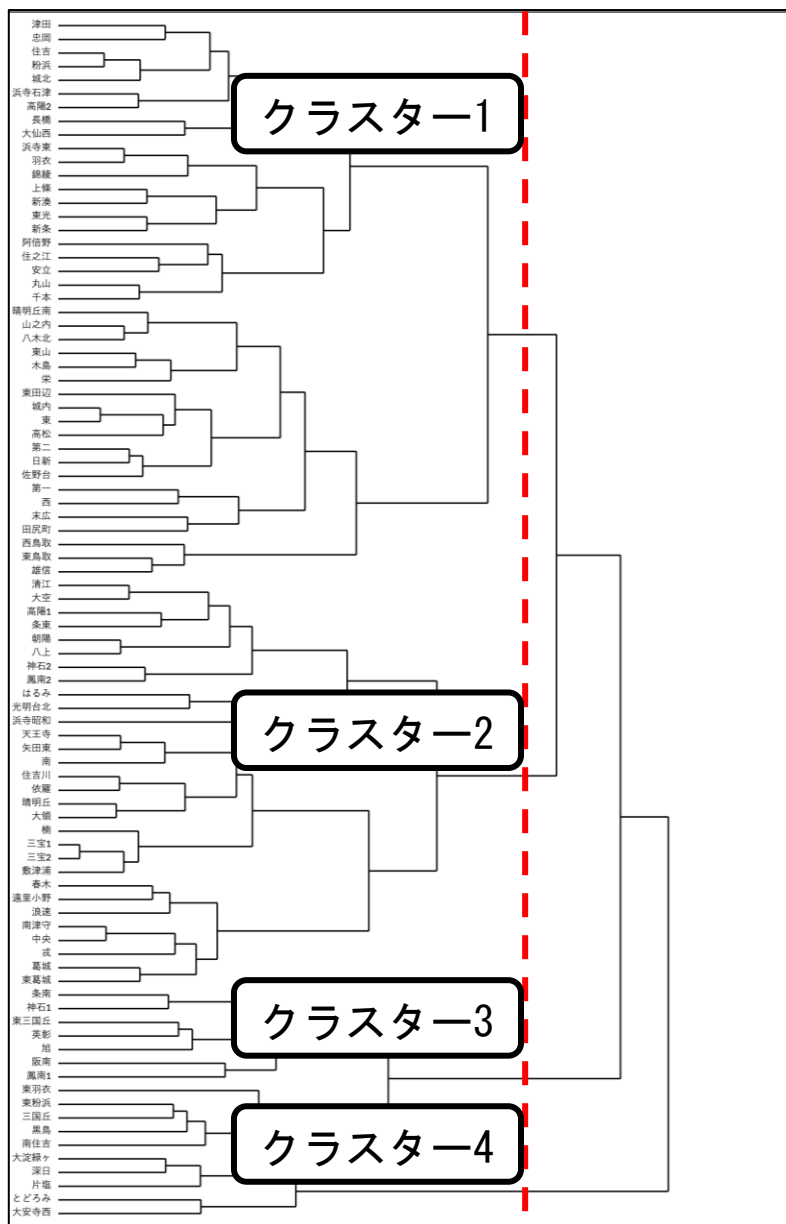
- ・近隣の大規模校が交通遊園を目的に来訪する「交通遊園型」

クラスター4 (5体験)

- ・遠方の大規模が短時間利用する「短時間型」

第3章：結果 -体験活動：公園の利用タイプ-

クラスター分析



クラスター1 (41体験) → 時間に規定

- ・長時間滞在を行う「長時間型」

クラスター2 (30体験)

- ・近隣校がバラ庭園を目的に来訪する
「バラ庭園型」

クラスター3 (12体験)

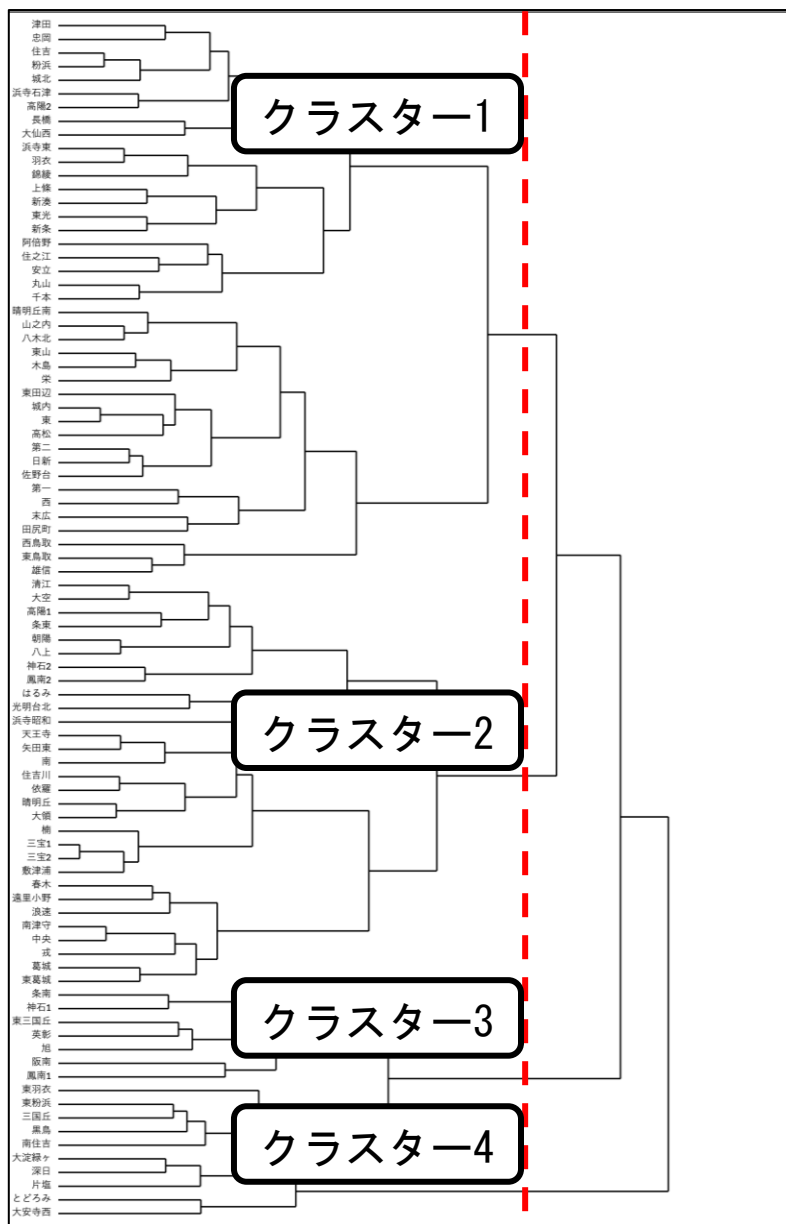
- ・近隣の大規模校が交通遊園を目的に
来訪する「交通遊園型」

クラスター4 (5体験) → 時間に規定

- ・遠方の大規模が短時間利用する
「短時間型」

第3章：結果 -体験活動：公園の利用タイプ-

クラスター分析



クラスター1 (41体験) → 時間に規定

- ・長時間滞在を行う「長時間型」

クラスター2 (30体験) → 施設を目的

- ・近隣校がバラ庭園を目的に来訪する
「バラ庭園型」

クラスター3 (12体験) → 施設を目的

- ・近隣の大規模校が交通遊園を目的に
来訪する「交通遊園型」

クラスター4 (5体験) → 時間に規定

- ・遠方の大規模が短時間利用する
「短時間型」

第4章：まとめ -小学生の体験活動の場としての都市公園に求められる役割-

●都市公園における小学生の体験活動

住区基幹公園：学校教育では実施の少ない社会体験を行える貴重な場として、地域住民との関係を形成する役割を果たしていた。

大規模公園：生活体験として気軽な体験、また文化体験や自然体験といった深い学習の場としての役割を担っていた。

●体験活動の場としての大規模公園の利用実態

- ・距離や時間数の長短を問わない利用、ばら庭園や交通遊園といった特定の施設を目的とした利用がみられた。
- 文部科学省では、単一の体験活動に留まらず、それらを複合させた体験活動の推進を求めている。
- 生活体験に比べ、文化体験や自然体験、社会体験の実施が少ない

住区基幹公園：社会体験の促進に向けた、公園愛護会や自治会のような地域との連携

大規模公園：園内の施設や自然環境を活かした文化体験や自然体験のプログラムの充実